

# 大島義彦業績

- 1) Glomus tumorの4例  
大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 12: 238-246, 1969.
- 2) 兄弟にみられたdysplasia epiphysealis multiplex  
大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 13: 276, 1970.
- 3) いわゆるテニス肘に対する短橈側手根伸筋腱延長術の成績と検討  
大島義彦  
整形外科, 23: 848-854, 1972.
- 4) テニス肘 (Epicondylitis lateralis humeri) の手術療法  
大島義彦  
手術, 27: 12-16, 1973.
- 5) 頸部脊椎症の臨床像と治療成績  
金子二司夫 大島義彦 渡辺一郎 東條猛 本間隆夫 安川敬一郎  
東北整形災害外科紀要, 20: 185-187, 1977.
- 6) 頸部脊髄症に対するskull tractionの治療経験  
児島充 大島義彦 渡辺一郎 皆川泓義  
東北整形災害外科紀要, 20: 181-184, 1977.
- 7) 誘発脊髄電位による機械的障害時の脊髄機能の可逆性判定について  
大島義彦 安川敬一郎  
医学のあゆみ, 102: 873, 1977.
- 8) 転移性脊椎腫瘍に対する手術施行例の検討  
蛭谷勉 大島義彦 本間隆夫 中村敬彦 安川敬一郎  
日本整形外科学会雑誌, 52: S1478-1479, 1978.
- 9) 背部皮膚の臍状陥凹を主訴とした脊椎披裂症例の手術経験  
朝比奈一三 渡辺好博 大島義彦 佐本敏秋  
東北整形災害外科紀要, 24: 56-59, 1981.

- 10) 馬尾神経部のpostinfectious arachnoiditisの1手術経験  
大島義彦 須田昭男 佐本敏秋 浜崎充  
東北整形災害外科紀要, 24(1): 59-61, 1981.
- 11) 脊髄腫瘍症150例の症候学的及び診断学的検討  
大島義彦  
整形災害外科, 24: 885-896, 1981.
- 12) 腰椎部の腫瘍性疾患 (分担執筆)  
大島義彦  
腰痛, 蓮江光男、鈴木勝巳、山内裕雄編, 金原出版, pp241-251, 1982.
- 13) 腕神経叢と胸郭出口の検査 (分担執筆)  
大島義彦  
整形外科診断学, 辻陽雄、高橋栄明編, 金原出版, pp238-255, 1982.
- 14) Cefamycin系抗生物質の骨皮質および骨髓内への移行濃度について  
井川譲 林雅弘 高柳誠 浜崎允 佐本敏秋 須田昭男 大島義彦 渡辺好博  
臨床整形外科, 17: 1003-1009, 1982.
- 15) 腰痛と腰椎部腫瘍  
大島義彦  
整形災害外科, 25: 1983-1985, 1982.
- 16) Cefmetazoleの骨組織内への移行動態  
井川譲 高柳誠 浜崎允 須田昭男 大島義彦 渡辺好博  
東北整形災害外科紀要, 26: 5-8, 1983.
- 17) 非定型的第4腰椎弓骨折の1例  
友岡和彦 大島義彦 太田吉雄 佐藤政悦 根本忠信  
東北整形災害外科紀要, 26: 99-102, 1983.
- 18) 多発性頸椎症に対する脊椎拡大術の経験  
友岡和彦 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 朝比奈一三 佐藤政悦 山原慎一  
東北整形災害外科紀要, 27: 114-117, 1983.
- 19) Spinal cordectomyを施行した髄内悪性腫瘍の2例  
山原慎一 大島義彦 佐本敏秋 友岡和彦 小野勝雄 比佐成夫  
東北整形災害外科紀要, 27: 98-100, 1983.

- 20) 乳癌手術後放射線照射により腕神経叢麻痺を生じた例の手術経験  
高柳誠 渡辺好博 大島義彦 佐本敏秋 村田紳悦 鈴木聡  
東北整形災害外科紀要, 27:189-191, 1984
- 21) Segmental wiring法による脊椎固定術を施行した3症例の検討  
山崎幸男 大畠信 大島義彦 浜崎允 横田実 佐本敏秋  
東北整形災害外科紀要, 27:202-204, 1984.
- 22) 椎弓形成的脊髄腫瘍摘出術の経験  
太田吉雄 齊藤聡 石井淳二 佐本敏秋 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 28(1):199-201, 1984.
- 23) 中国黒竜江省からの帰国者に見られたKaschin-Beck病と考えられる2症例の検討  
折居和夫 山崎幸男 土田浩之 森倫夫 朝比奈一三 浜崎允 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 28(1):167-170, 1984.
- 24) サクランボ収穫作業で発生した外傷の考察  
佐藤政悦 大島義彦 山崎幸男 大畠信  
東北整形災害外科紀要, 28(1):56-62, 1984.
- 25) 上位頸髄腫瘍  
大島義彦  
整形・形成外科診療Question&Answers, 六法出版, 1985.
- 26) スポーツにより発生した離断性骨軟骨炎とPanner病  
朝比奈一三 渡辺好博 大島義彦 結城正明 湊純  
整形外科スポーツ医学会誌, 4:55, 1985.
- 27) Spinal Instrumentationの強度試験(改良型Luque L-rod)  
佐本敏秋 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 渡辺好博  
日本整形外科学会雑誌, 60:S430-431, 1986.
- 28) 胸腰椎部脊椎損傷例の治療成績の検討  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 根本忠信 大類広  
日本整形外科学会雑誌, 60:S77-78, 1986.
- 29) 単純X線上石灰像を示した頸部脊髄腫瘍(髄膜腫)の1症例  
鳥居伸行 山原慎一 宮川修一 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 30:260-264, 1986.

- 30) 頸部脊柱管拡大術を施行した70症例の検討  
大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 友岡和彦 根本忠信 山崎幸男 林雅弘 大利昌宏  
横田実  
日本整形外科学会雑誌, 61 : S 639, 1987.
- 31) 脊椎外傷について  
大島義彦  
セラピスト, 8 : 23-27, 1987.
- 32) Spinal corpectomyを施行した原発性悪性脊髄内腫瘍の3例  
吉岡信弥 大島義彦 佐本敏秋 富樫耕司 友岡和彦 山崎幸男 山原慎一 林雅弘  
横田実  
東北整形災害外科紀要, 31 : 225-228, 1988.
- 33) 頸椎外傷後に脳幹部梗塞を来した1例  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 林雅弘 浜崎允 平本典利  
東北整形災害外科紀要, 32 : 235-238, 1988.
- 34) 強直母指放置例(10年以上) 2例の経験  
桑添裕光 石井政次 大島義彦  
山形整形外科学会誌, 4 : 14-15, 1988.
- 35) McGraw法を応用した後頭骨軸椎間固定術の試み  
横田実 佐本敏秋 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 平本典利  
東日本臨床整形外科学会誌, 1 : 2-5, 1989.
- 36) 転移性脊椎腫瘍における手術術式と適応の検討  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 太田吉雄 横田実 伊藤友一 石川朗  
平本典利  
日本整形外科学会雑誌, 63 : S 399, 1989.
- 37) RA spineに対する手術例30例の検討  
伊藤友一 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実  
佐藤信彦  
東北整形災害外科紀要, 33 : 366-370, 1989.
- 38) 中・下位頸椎の外傷性脱臼(骨折) 整復術  
大島義彦  
Orthopaedics, 10 : 79-82, 1989.

- 39) 片側侵入、棘突起形成的頸部脊柱管拡大術  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 佐藤信彦  
伊藤友一  
日本整形外科学会雑誌, 64: S 402, 1990.
- 40) 山形大式頸部脊柱管拡大術 (片側侵入棘突起形成的片開き) の検討  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 佐藤信彦  
伊藤友一 富樫耕司  
日本整形外科学会雑誌, 64: S 391, 1990.
- 41) 転移性脊椎腫瘍の手術適応と術式の選択  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋  
脊椎脊髄ジャーナル, 3: 291-299, 1990.
- 42) 1988年度、蔵王スキー場において発生したスキー外傷の分析  
結城正明 渡辺好博 大島義彦 山本博司 浜崎允 佐本敏秋 伊藤友一  
日本整形外科学スポーツ医学会誌, 9: 173-177, 1990.
- 43) HTLV-1 associated myelopathy (HAM) の2症例  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 横田実 伊藤友一 石川朗 浜崎允  
東北整形災害外科紀要, 34: 18-21, 1990.
- 44) 頸部脊柱管拡大術後に生じた神経根性麻痺の検討  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 長島太郎 富樫耕司  
東北整形災害外科紀要, 34: 277-380, 1990.
- 45) 転移性脊椎腫瘍の生命予後  
伊藤友一 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 林雅弘 平本典利  
手術, 44: 1155-1159, 1990.
- 46) 蔵王スキー場における肩関節周囲外傷  
- 肩関節脱臼、鎖骨骨折などの発生要因について -  
伊藤友一 渡辺好博 大島義彦 山本博司 佐本敏秋 後藤康夫 結城正明  
臨床スポーツ医学, 7: 52-55, 1990.
- 47) 平成元年度スキー診療報告書  
大島義彦 渡辺好博 結城正明  
蔵王診療所・山形スポーツ医科学研究所所報, 2: 17-51, 1990.

- 48) スキー外傷の分析  
大島義彦 山本博司 浜崎允 佐本敏秋 伊藤友一  
スポーツ医学会誌, 1990.
- 49) 改良型Luque instrumentationの開発と臨床応用  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 横田実 富樫耕司 伊藤友一 長島太郎  
別冊整形外科No.20, 南江堂, pp45-49, 1991.
- 50) 難治性の下肢限局性疼痛に対し腰神経根後根切除術を施行した2症例の経験  
佐藤信幸 大島義彦 齊藤聡 原田順二  
東北整形災害外科紀要, 35: 215-217, 1991.
- 51) 成人脛骨に発症したdysplasia epiphysealis hemimelicaの1例  
武井寛 高木信博 佐藤政悦 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 35: 106-108, 1991.
- 52) 移行性脊椎腫瘍に対する後方侵入前方除圧術の経験  
長島太郎 大島義彦 林雅弘 森倫夫 尾鷲和也  
東北整形災害外科紀要, 35: 256-259, 1991.
- 53) 胸椎黄色靭帯骨化症の手術例の検討  
富樫耕司 大島義彦 林雅弘 横田実 平本典利 佐藤浩  
東日本臨床整形外科学会雑誌, 3: 517-519 1991.
- 54) 移行性脊椎腫瘍に対する手術療法の除痛効果  
長島太郎 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 伊藤友一  
東日本臨床整形外科学会雑誌, 3: 647-653, 1991.
- 55) 脊柱管拡大術 -片側侵入、有茎棘突起形成片開き法-  
大島義彦 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利  
脊椎脊髄ジャーナル, 4: 577-583, 1991.
- 56) 椎弓切除に加えて椎間関節切除がなされたヘルニア術式の腰椎不安定性に関する長期予後の検討  
太田吉雄 佐本敏秋 大島義彦 林雅弘 横田実  
日本脊椎外科学会雑誌, 2: S224, 1991.

- 57) 転移性脊椎腫瘍における術式の選択  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 長島太郎 尾鷲和也 富樫耕司  
日本脊椎外科学会雑誌, 2: S66, 1991.
- 58) 山形県におけるスポーツ活動への医学的取り組み  
大貫義人 大島義彦  
健康と体力, 23: 46-49, 1991.
- 59) 椎弓切除に加えて椎間関節切除がなされたヘルニア術後の腰椎不安定性に関する長期予後の検討  
太田吉雄 佐本敏秋 大島義彦 林雅弘 横田実  
臨床整形外科, 27: 537-544, 1992.
- 60) 転移性脊椎腫瘍の手術療法  
大島義彦 林雅弘 森倫夫 伊藤友一 尾鷲和也 長島太郎 武井寛 平本典利  
佐藤信彦 佐藤浩 横田実  
日本整形外科学会雑誌, 66: S80, 1992.
- 61) 骨傷の明らかでない不全頸髄損傷の治療経験  
平本典利 大島義彦 林雅弘 佐藤浩 横田実 森倫夫 伊藤友一 長島太郎  
佐藤信彦  
日本整形外科学会雑誌, 66: S80, 1992.
- 62) 硬膜外腔に移植した遊離脂肪が脊髄圧迫を引き起こした1例  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 伊藤友一 武井寛 横田実  
東北整形災害外科紀要, 36: 109-112, 1992.
- 63) 外傷性脊髄損傷患者に対する横隔膜ペーシングの経験  
武井寛 高木信博 笹木勇人 星信一 永井博子 尾鷲和也 大島義彦  
臨床整形外科, 27: 1027-1030, 1992.
- 64) 転移性脊椎腫瘍に対する手術療法の徐痛効果  
長島太郎 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 尾鷲和也 武井寛  
日本脊椎外科学会雑誌, 3: 36, 1992.

- 65) 転移性脊椎腫瘍に対する手術療法の徐痛効果  
ー痛みと治療による徐痛効果の評価についてー  
長島太郎 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 尾鷲和也 武井寛  
臨床整形外科, 28: 285-291, 1993.
- 66) 学童生徒の腰痛症 ー過去3年間の経験ー  
林雅弘 大島義彦 渡辺好博  
山形県医師会会報, 499: 22-26, 1993.
- 67) 転移性脊椎腫瘍の痛みに対する手術療法の徐痛効果  
ー痛みと治療による徐痛効果の評価ー  
長島太郎 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 尾鷲和也 武井寛  
ペインクリニック, 14: 259-265, 1993.
- 68) MRIからみた頸椎脊柱管拡大術術後成績の検討  
伊藤友一 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 森倫夫  
佐藤信彦 長島太郎 武井寛  
日本整形外科学会雑誌, 67: S 685, 1993.
- 69) 改良型Luque Instrument (G-Rod) による脊椎外傷の治療経験  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫 伊藤友一  
長島太郎 佐藤信彦 武井寛  
日本整形外科学会雑誌, 67: S 280, 1993.
- 70) 上位頸椎不安定症に対するwiring固定法の検討  
伊藤友一 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 森倫夫 佐藤信彦  
長島太郎 尾鷲和也  
東北整形災害外科紀要, 35: 362-365, 1991
- 71) 頸部脊髓造影に伴う頸髄損傷の1例  
太田吉雄 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 37: 44-46, 1993.
- 72) 放射線治療を受けた胸椎化膿性脊椎炎の2例  
林雅弘 大島義彦 横田実 伊藤友一 森倫夫  
東北整形災害外科紀要, 37: 24-28, 1993.



- 73) 骨粗鬆症を基盤とした脊椎圧迫骨折後の遅発性脊髄麻痺に対する手術治療経験  
有井陽之介 大島義彦 林雅弘 太田吉雄 伊藤友一 武井寛 佐藤浩 平本典利  
横田実 森倫夫 長島太郎  
東日本臨床整形外科学会誌, 5: 235-238, 1993.
- 74) 兎ヒラメ筋による廃用性筋萎縮の回復過程  
-筋不溶性及び可溶性蛋白を中心に-  
伊藤友一 渡辺好博 大島義彦  
体力科学, 42: 360-370, 1993.
- 75) 頸髄・上位胸髄腫瘍に対する山形大式脊柱管拡大術の応用  
武井寛 大島義彦 林雅弘 佐藤浩 横田実 高木信博  
整形災害外科, 36: 1227-1234, 1993.
- 76) 頸髄症術前後成績によるMRI信号変化の検討 -特にT2信号変化について-  
伊藤友一 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 佐藤信彦  
長島太郎 武井寛  
臨床整形外科, 28: 1221-1227, 1993.
- 77) 頸肩腕症候群の保存療法 -疾患概念の整理及び発症機序に基づく分類と治療-  
大島義彦  
整形外科Mook増刊-2「私のすすめる整形外科治療法 2:A保存療法」, 金原出版,  
pp77-81, 1993.
- 78) 胸腰椎破裂骨折に対する内固定材料を用いない前方除圧固定術  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫 伊藤友一  
長島太郎 佐藤信彦 武井寛 有井陽之介  
日本脊椎外科学会雑誌, 4(1): S270, 1993.
- 79) 小さな髄内腫瘍 -診断及び治療上の問題点-  
三井公彦 田中千彦 橘滋国 矢田賢三 林雅弘 大島義彦 望月真人 守屋秀繁  
脊髄外科, 7: 46-51, 1993.
- 80) ヒト筋肉のタイプ分類  
伊藤友一 渡辺好博 大島義彦 林雅弘 鈴木庸夫 梅津和夫  
山形整形外科研究会会誌, 5: 23-27, 1993.

- 81) 保存療法後腰椎椎間板ヘルニア腫瘤の縮小がMRIにより確認された症例  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 横田実 渡辺好博  
整形外科, 45: 37-41, 1994.
- 82) RA spineに対する頸椎椎弓形成術の治療経験  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 横田実 有井陽之介  
東日本臨床整形外科学会誌, 6: 85-89, 1994.
- 83) 環軸椎亜脱臼に対するMagerl法における若干の工夫  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也  
整形災害外科, 57: 595-599 1994.
- 84) RA頸椎に対するわれわれの治療指針  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 平本典利  
脊椎脊髓ジャーナル, 8: 67-73 1995.
- 85) 片開き法脊柱管拡大術の骨欠損部に移植したハイドロキシアパタイト気孔内への骨伝導状態の実験的検討  
長島太郎 大島義彦 竹内啓泰  
日本整形外科学会雑誌, 69: 222-230 1995.
- 86) 最近経験した結核性関節炎の2例  
大島義彦 石田寛友  
第180回新潟外科集談会 (新潟)
- 87) 脊髄脂肪腫の2症例の経験  
大島義彦 皆川泓義 金子二司夫  
第20回東日本臨床整形外科学会 (東京)
- 88) Hemophilic Pseudotumorによる大腿骨骨折の1例  
大島義彦 皆川泓義 金子二司夫  
第193回新潟外科集談会 (新潟)
- 89) Foramen Magnum部腫瘍の3症例の治療経験  
大島義彦 皆川泓義  
第42回東北整形災害外科学会 (盛岡)

- 90) 脊椎脱臼骨折の治療経験  
大島義彦  
第44回東北整形災害外科学会（仙台）
- 91) 大腿四頭筋拘縮症の現状（新潟県の検診結果の分析と文献的考察）  
大島義彦 田島達也  
第198回新潟外科集談会（新潟）
- 92) 小児慢性肉芽腫症の長期観察症例  
東條猛 大島義彦  
新潟膠原病研究会（新潟）
- 93) 脊髄腫瘍と診断し手術的に腫瘍を発見できなかった症例の検討  
皆川泓義 大島義彦  
第196回新潟外科集談会（新潟）
- 94) 黄色靭帯骨化症の6例  
大島義彦  
第3回脊椎外科研究会
- 95) 頸椎後縦靭帯骨化症と糖代謝異常  
渡辺一郎 大島義彦  
第4回新潟カルシウム代謝硬組織研究会（新潟）
- 96) 頸椎後縦靭帯骨化症における臨床像の検討  
蛭谷勉 大島義彦  
第24回東日本臨床整形外科学会
- 97) 上肢神経麻痺症状の鑑別診断とその限界（主題シンポジウム）  
大島義彦  
第24回東日本臨床整形外科学会
- 98) cervical spondylotic myelopathyの重症度の評価法試案の紹介と、この疾患に対するcontinuous skull tractionの治療経験  
大島義彦  
第23回新潟整形外科懇話会（新潟）

- 99) 頸部脊髄症の臨床像と治療成績  
金子二司夫 大島義彦 皆川泓義  
第48回東北整形災害外科学会
- 100) 頸部脊椎症に対するskull tractionの治療経験  
児島充 大島義彦  
第48回東北整形災害外科学会
- 101) 転移性脊椎腫瘍の手術的治療経験  
蛭谷勉 大島義彦 皆川泓義  
第203回新潟外科集談会（新潟）
- 102) Foramen Magnum Tumor 9 症例の分析による早期診断の検討  
大島義彦 皆川泓義 金子二司夫 蛭谷勉  
第50回日本整形外科学会
- 103) 誘発脊髄電位を用いた急性脊髄障害の可逆性判定に関する実験的研究  
安川敬一郎 大島義彦  
第50回日本整形外科学会
- 104) 頸椎後縦靭帯骨化症の成因の追求  
渡辺一郎 大島義彦  
第50回日本整形外科学会
- 105) 褥創の予防と痕治的手術法  
東條猛 大島義彦  
第204回新潟外科集談会（新潟）
- 106) 脳性麻痺によるアテトーゼに関連した頸椎部障害 3 症例の経験（指定討論）  
大島義彦 本間隆夫  
第334回新潟医学会（新潟）
- 107) 転移性脊椎腫瘍に対する手術施行例の検討  
蛭谷勉 大島義彦 皆川泓義  
第51回日本整形外科学会（盛岡）
- 108) 腱反射（muscle stretch reflex）の検査法、表示法に関する検討  
大島義彦 皆川泓義  
第51回東北整形災害外科学会（新潟）

- 109) C・P・アテトーゼタイプの頸椎症 3 症例の治療経験  
大島義彦  
第 1 回東北脊椎外科懇話会
- 110) 治療に困難を感じた環軸椎脱臼の 1 例  
大島義彦 蛭谷勉  
第 1 回東北脊椎外科懇話会
- 111) 反省すべ治療経過をとった頸部後縦靭帯骨化症の 2 治療経験  
大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫  
第52回東北整形災害外科学会
- 112) 脊髄病変に対する病理学的検索法の問題点  
巻淵隆夫 大島義彦  
第 4 回上信越神経病理懇談会
- 113) 大腿四頭筋短縮症手術症例の分析による手術法手術適応の検討  
大島義彦 齊藤英彦 東條猛  
第 2 回新潟膝関節研究会（新潟）
- 114) Dumbbell型脊髄腫瘍15例の検討  
本間隆夫 大島義彦 蛭谷勉 中村敬彦 中村滋 五味渕文雄 安川敬一郎  
第 8 回脊椎外科研究会
- 115) 原発性脊椎腫瘍24症例の検討  
五味渕文雄 大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫 中村敬彦 安川敬一郎 中村滋  
皆川泓義  
第 8 回脊椎外科研究会
- 116) 転移性脊椎腫瘍に対する手術施行例の検討  
蛭谷勉 大島義彦 本間隆夫 中村敬彦 中村滋 安川敬一郎 五味渕文雄 林侃  
皆川泓義  
第 8 回脊椎外科研究会
- 117) 新潟中央病院で過去 1 年間に扱った脊椎外傷の救急治療に関する検討  
大島義彦 齊藤英彦 安川敬一郎  
第 1 回新潟救急医学会（新潟）

- 118) 神経症状を伴うSpina bifida occultaの3例  
中村敬彦 大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫 中村滋 五味渕文雄 小嶋允  
第53回東北整形災害外科学会（盛岡）
- 119) 手術を行った脊髄髄内腫瘍の18例の検討  
中村滋 大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫 中村敬彦 安川敬一郎 五味渕文雄  
皆川泓義  
第28回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 120) 頸椎多椎間固定における固定法についての反省すべき経験  
大島義彦 他  
第3回東北地区脊椎外科懇話会
- 121) あちこちで約18回の手術を受けるも症状の改善がみられない交通外傷後遺症の1例  
大島義彦 浜崎允 佐本敏秋  
第3回東北地区脊椎外科懇話会
- 122) 新潟中央病院で過去1年間に取り扱った「麻痺を伴う新鮮脊椎外傷18症例（内15例は脊髄損傷）」の治療経験  
大島義彦 蛭谷勉 五味渕文雄 齊藤英彦 関根明 長野純二 安川敬一郎  
藤野圭司 中屋愛作 佐藤豊  
第27回日本災害医学会学術大会
- 123) 頸肩腕症候群の診断と治療（教育講演）  
大島義彦  
第43回新潟整形外科懇話会（新潟）
- 124) 急激に発生した非外傷性対麻痺例の検討  
中村敬彦 林侃 皆川泓義 大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫 中村滋 五味渕文雄  
第53回日本整形外科学会総会（久留米）
- 125) 頸椎損傷における局麻下手術の経験  
五味渕文雄 大島義彦 中村敬彦  
第44回新潟整形外科懇話会（新潟）
- 126) 頸椎損傷における早期局麻下手術（減圧、前方固定）の経験  
大島義彦 蛭谷勉 本間隆夫  
第55回東北整形災害外科学会

- 127) 背部皮膚の陥凹を主訴とした脊椎披裂の手術経験  
朝比奈一三 大島義彦 佐本敏秋 三浦競郎  
第55回東北整形災害外科学会
- 128) 馬尾神経性間歇性跛行に対するflexion braceの使用経験  
佐本敏秋 大島義彦 浜崎允 三浦競郎 村田紳悦  
第55回東北整形災害外科学会
- 129) 馬尾神経部のpostinfectious arachnoiditisの1手術経験  
大島義彦 須田昭男 佐本敏秋 浜崎允  
第55回東北整形災害外科学会
- 130) 振動覚測定器を用いた振動覚検査の試み  
原田順一 渡辺好博 大島義彦 三浦競郎 安藤和正  
第55回東北整形災害外科学会
- 131) 胸椎椎間板ヘルニア2例の手術経験  
間庭芳文 蛭谷勉 本間隆夫 中村敬彦 中村滋 羽場輝夫 大島義彦  
第4回東北地区脊椎外科懇話会
- 132) 大腿四頭筋拘縮症の経年的変化について（新潟県における実態調査による）  
大島義彦  
第4回東北地区脊椎外科懇話会
- 133) 新しい膝関節用固定装具の使用経験  
結城正明 浜崎允 須田昭男 大島義彦 渡辺好博  
第29回東日本臨床整形外科学会（仙台）
- 134) 脊髄腫瘍150症例の臨床検討  
大島義彦 佐本敏秋  
第29回東日本臨床整形外科学会（仙台）
- 135) 化膿症に対するmuscle flapおよびmusculocutaneous flapによる治療経験  
浜崎允 渡辺好博 大島義彦 須田昭男  
第29回東日本臨床整形外科学会（仙台）
- 136) 類腱腫の2例  
根本忠信 須田昭男 渡辺好博 大島義彦 佐本敏秋 三浦競郎  
第56回東北整形災害外科学会（福島）

- 137) 大腿四頭筋拘縮症の経年的変化について  
東條猛 田島達也 羽生忠正 長野純二 中山潮 大島秀人 大島義彦 齊藤英彦  
黛正  
第56回東北整形災害外科学会 (福島)
- 138) 転移性脊椎腫瘍の観血的治療の意義について -50余例の経験から-  
大島義彦  
第1回山形医学会 (山形)
- 139) 脊髄腫瘍150症例学的及び診断学的検討  
大島義彦 佐本敏秋 ほか  
第54回日本整形外科学会学術集会 (横浜)
- 140) 脊髄腫瘍摘出後の脊椎支持性とその再建術施行例の検討  
本間隆夫 大島義彦 ほか  
第54回日本整形外科学会学術集会 (横浜)
- 141) サブオルソレン製膝装具の使用経験  
矢尾板孝子 浜崎允 須田昭男 大島義彦 渡辺好博  
第18回日本リハビリテーション医学会総会 (倉敷)
- 142) Cefmetazoleの骨内組織への移行動態  
井川譲 高柳誠 浜崎允 須田昭男 大島義彦 渡辺好博  
第57回東北整形災害外科学会 (仙台)
- 143) 診断に難渋した脊髄内gliomaの1例  
佐藤浩 大島義彦 佐本敏秋 根本忠信 ほか  
第57回東北整形災害外科学会 (仙台)
- 144) 放射線治療による前胸部皮膚並びに腕神経叢の障害に対する手術経験  
高柳誠 渡辺好博 大島義彦 佐本敏秋  
第2回山形医学会学術大会 (山形)
- 145) 乳癌手術後放射線照射により腕神経叢麻痺を生じた例の手術経験  
高柳誠 渡辺好博 大島義彦 佐本敏秋 村田紳悦 鈴木聡  
第58回東北整形災害外科学会



- 146) 診断困難な右下肢痙性麻痺を呈する1症例のmyelogram  
大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 高橋信英 根本忠信 友岡和彦  
第7回東北地区脊椎外科懇話会
- 147) 非定型的腰椎弓骨折の1例  
友岡和彦 大島義彦 太田吉雄 佐藤政悦 根本忠信  
第59回東北整形災害外科学会
- 148) 環軸椎間固定術を施行した26症例の検討  
大島義彦 佐本敏秋 ほか  
第11回脊椎外科学研究会
- 149) 上腕における血管・神経開放損傷例の手術経験とその検討  
佐藤浩 加藤浩司 渡辺好博 大島義彦 高木信博  
第30回日本災害医学会
- 150) 椎弓形成的脊髄腫瘍摘出術の経験  
太田吉雄 小林勝 齊藤聡 石井淳二 佐本敏秋 大島義彦  
第9回東北地区脊椎外科懇話会
- 151) Odontoidectomyを施行したChiari malformationを伴うbasilar impressionの1経験  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 浜崎允 佐藤浩 横田実  
第61回東北整形災害外科学会（山形）
- 152) 上位胸椎椎間板ヘルニアの診断と治療法の検討 - 3手術例の経験から -  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 佐藤政悦 横田実  
第61回東北整形災害外科学会（山形）
- 153) 多発性頸部脊椎症に対する脊柱管拡大術の経験  
友岡和彦 大島義彦 太田吉雄 朝比奈一三 佐本敏秋 山原慎一 佐藤政悦  
第61回東北整形災害外科学会（山形）
- 154) segmental wiring法による脊椎固定術を施行した3症例の検討  
山崎幸男 大島信 浜崎允 横田実 大島義彦 中村敬彦 佐本敏秋  
第61回東北整形災害外科学会（山形）
- 155) spinal cordectomyを施行した髄内悪性腫瘍の2例  
山原慎一 大島義彦 佐本敏秋 小野勝雄 比佐成夫  
第61回東北整形災害外科学会（山形）

- 156) Transoral odontoidectomyを施行したChiari malformationを伴うbasilar impression  
の1経験  
大島義彦 佐本敏秋 浜崎允 太田吉雄 佐藤浩 横田実  
第4回山形脳神経研究会（山形）
- 157) 上位胸椎椎間板ヘルニアの診断と治療法の検討  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 横田実 佐藤政悦  
第1回山形大学・琉球大学整形外科研究会
- 158) サクランボ収穫作業で発生した外傷の考察  
佐藤政悦 大島義彦 山崎幸男 大畠信  
第62回東北整形災害外科学会（秋田）
- 159) posterior spinal instrumentation手術の失敗例の検討と対策  
山崎幸男 大島義彦  
第63回東北整形災害外科学会
- 160) 仙骨部褥瘡に併発した扁平上皮癌の1剖検例  
後藤康夫 須田昭男 大島義彦 村田紳悦 友岡和彦 佐藤政悦  
第63回東北整形災害外科学会（福島）
- 161) カシンバック病と考えられる2症例の検討  
折居和夫 大島義彦 浜崎允 山崎幸男 土田浩之 森倫夫 渡辺好博  
第63回東北整形災害外科学会（福島）
- 162) 胸椎後弯部椎間板ヘルニアによる脊髄症の診断と、より安全な治療法の検討  
大島義彦 佐本敏秋 浜崎允 佐藤浩 皆川泓義 蛭谷勉 本間隆夫 中村敬彦  
第57回日本整形外科学会（札幌）
- 163) スポーツにより発生した離断性骨軟骨炎とPanner病  
朝比奈一三 渡辺好博 大島義彦 浜崎允 結城正明  
第10回整形外科スポーツ医学研究会
- 164) 高位診断が困難であった、下垂足を呈した症例の検討  
室岡久爾夫 石井政次 大島義彦 浜崎允 佐藤浩 林雅弘  
第64回東北整形災害外科学会（仙台）

- 165) 片開き頸部脊柱管拡大術の若干の工夫  
大島義彦 佐藤浩 鈴木聡 清重佳郎 長島太郎 佐本敏秋  
第64回東北整形災害外科学会（仙台）
- 166) 脊髄硬膜外嚢腫1例の経験  
石井政次 大島義彦 室岡久爾夫 佐藤浩  
第17回山形整形外科研究会（山形）
- 167) 四肢脊柱外傷に対する緊急処理の問題点  
渡辺秀雄 渡辺好博 大島義彦 須田昭男 浜崎允  
第8回山形県医師会学校医大会（山形）
- 168) 頸部脊髄症に対する脊柱管拡大術22症例の経験  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 友岡和彦 根本忠信 佐藤政悦 山崎幸男  
第58回日本整形外科学会
- 169) 転移性脊椎腫瘍に対する手術例の検討  
佐藤浩 佐本敏秋 山崎幸男 大島義彦 蛭谷勉  
第58回日本整形外科学会
- 170) 新潟県における大腿四頭筋拘縮症の長期検診結果について  
東條猛 田島達也 斉藤英彦 間淵公一郎 中山剛男 木島秀人 大島義彦  
羽生忠正 長野純二 黛正  
第65回東北整形災害外科学会（新潟）
- 171) Luque SSI法におけるラセン状の溝切りロッドの使用経験  
大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩  
第65回東北整形災害外科学会（新潟）
- 172) 転移性脊椎腫瘍101例の手術経験  
佐藤浩 大島義彦 佐本敏秋 根本忠信 友岡和彦 山崎幸男 林雅弘  
第5回山形脳神経研究会（山形）
- 173) 胸腰部脊椎損傷例の治療成績の検討  
林雅弘 佐本敏秋 大島義彦 佐藤浩 根本忠信  
第59回日本整形外科学会（東京）

- 174) Spinal Instrumentationの強度試験 (改良型-Luque L-Rod)  
佐本敏秋 佐藤浩 大島義彦 林雅弘 渡辺好博 他  
第59回日本整形外科学会 (東京)
- 175) 多発性脊髄腫瘍の1例  
鳥居伸行 小野勝 太田吉雄 大島義彦 伊藤友一 柏英雄  
第21回山形整形外科学研究会 (山形)
- 176) 肩関節脱臼におけるStimson法の経験  
石井政次 桑添裕光 大島義彦  
第22回山形整形外科学研究会 (山形)
- 177) 非定型的石灰化像を示した頸部脊髄腫瘍 (髄膜腫) の1症例  
鳥居伸行 小林勝 山原慎一 宮川修一 矢島美穂子 大島義彦  
第68回東北整形災害外科学会 (山形)
- 178) ラグビーによる頸髄損傷2例  
伊藤友一 大島義彦 佐本敏秋 長島太郎  
第2回山形県スポーツ医科学研究会 (山形)
- 179) 強直母指放置例 (10年以上) 2例の経験  
桑添裕光 大島義彦 石井政次  
第24回山形整形外科学研究会 (山形)
- 180) 頸部脊柱管拡大術を施行した70症例の検討  
大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 友岡和彦 根本忠信 山崎幸男 林雅弘 大利昌宏  
横田実  
第60回日本整形外科学会学術集会 (新潟)
- 181) Halo pelvic traction (H.P.T) の問題点  
佐本敏秋 大島義彦 山崎幸男 林雅弘 横田実 富樫耕司 佐藤浩 友岡和彦  
第69回東北整形災害外科学会 (秋田)
- 182) Spinal cordectomyを施行した原発性悪性脊髄髄内腫瘍の3例  
吉岡信弥 富樫耕司 佐本敏秋 大島義彦 友岡和彦 山崎幸男 山原慎一 林雅弘  
横田実  
第69回東北整形災害外科学会 (秋田)

- 183) 頸椎片側性脱臼整復後に脊髄損傷を来した1例  
石井淳二 小林勝 山原慎一 佐藤信幸 大島義彦  
第70回東北整形災害外科学会（福島）
- 184) 転移性脊椎腫瘍の手術療法の徐痛効果の検討  
長島太郎 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 友岡和彦 山崎幸男 林雅弘 平本典利  
土田浩之 石川朗 伊藤友一 佐藤信彦  
第36回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 185) 転移性脊椎腫瘍の手術法について検討  
佐本敏秋 大島義彦 佐藤浩 友岡和彦 山崎幸男 林雅弘 平本典利 土田浩之  
石川朗 長島太郎 佐藤信彦 伊藤友一  
第36回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 186) 転移性脊椎腫瘍の神経麻痺の治療成績について  
土田浩之 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 友岡和彦 山崎幸男 林雅弘 平本典利  
石川朗 長島太郎 佐藤信彦 伊藤友一  
第36回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 187) 転移性脊椎腫瘍の生命予後の検討  
伊藤友一 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 友岡和彦 山崎幸男 林雅弘 平本典利  
土田浩之 石川朗 長島太郎 佐藤信彦  
第36回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 188) 環軸椎後方固定術（McGraw法）の経験と若干の工夫  
所沢徹 大島義彦 佐藤政悦  
第25回山形整形外科研究会（山形）
- 189) サクランボ収穫作業で発生した外傷の考察  
佐藤政悦 渡辺好博 大島義彦 設楽正彰 井川譲 吉岡信弥  
第3回東北救急医学会
- 190) 頸椎外傷後に脳幹部梗塞を来した1例  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 林雅弘 浜崎允  
第71回東北整形災害外科学会（仙台）
- 191) 頸部脊髄症に対する顎髭療法及びゴムバンド療法  
大島義彦 佐本敏秋 林雅弘 横田実 平本典利  
第71回東北整形災害外科学会（仙台）

- 192) HTLV-1 associated myelopathy (HAM) の2症例の経験  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 横田実 伊藤友一 石川朗 浜崎允  
第71回東北整形災害外科学会 (仙台)
- 193) 中心性頸髄損傷例の頸椎不安定性について  
平本典利 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 林雅弘  
第17回日本脊椎外科学会 (大坂)
- 194) 腹臥位麻酔中に発症した悪性高熱の1例  
所沢徹 佐藤政悦 大島義彦  
第26回山形整形外科研究会 (山形)
- 195) McGraw法を応用した後頭骨軸椎間固定術の試み  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 林雅弘 平本典利 佐藤浩  
第37回東日本臨床整形外科学会 (東京)
- 196) 手術による椎骨動脈損傷4症例の経験  
大島義彦 佐本敏秋 友岡和彦 林雅弘 横田実 平本典利  
第72回東北整形災害外科学会 (新潟)
- 197) 当院における脛骨高位骨切り術26膝の検討  
所沢徹 佐藤政悦 大島義彦  
第72回東北整形災害外科学会 (新潟)
- 198) 孤立性骨髄腫として10年間経過した1症例  
笹木勇人 大島義彦 須田昭男 佐本敏秋 林雅弘 横田実 石川朗  
第27回山形整形外科研究会 (山形)
- 199) 不全頸髄損傷の治療法の検討  
大島義彦 平本典利  
第27回山形整形外科研究会 (山形)
- 200) 転移性脊椎腫瘍における手術術式と適応の検討  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 横田実 石川朗  
第27回山形整形外科研究会 (山形)

201) 不全頸髄損傷の治療法の検討

大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 尾鷲和也 森倫夫  
石川朗 佐藤信彦 伊藤友一 富樫耕司 長島太郎  
第62回日本整形外科学会（浦安）

202) 転移性脊椎腫瘍における手術術式と適応の検討

林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 太田吉雄 横田実 伊藤友一 石川朗  
平本典利  
第62回日本整形外科学会（浦安）

203) 孤立性骨髄腫の1例

笹木勇人 大島義彦 須田昭男 佐本敏秋 林雅弘 横田実 平本典利 石川朗  
第73回東北整形災害外科学会（弘前）

204) スポーツ活動に伴う腰椎分離（辻り）症の治療

大島義彦 林雅弘 横田実 佐本敏秋  
第7回山形県スポーツ医科学研究会（山形）

205) 高度不安定性を呈したRA頸椎に対する手術の経験

林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 横田実 伊藤友一 石川朗 鈴木聡  
第28回山形整形外科研究会（山形）

206) 1988年蔵王スキー場で発生したスキー外傷の分析

結城正明 渡辺好博 大島義彦 山本博司 浜崎允 佐本敏秋 伊藤友一  
第15回日本整形外科スポーツ医学会（札幌）

207) 蔵王スキー場における肩周囲外傷

－肩関節脱臼と鎖骨骨折などの発生原因について－  
伊藤友一 渡辺好博 大島義彦 山本博司 後藤康夫 結城正明  
第11回東日本スポーツ医学研究会（東京）

208) RA spineに対する手術症例30例の検討

伊藤友一 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実  
佐藤信彦  
第74回東北整形災害外科学会（盛岡）

209) F波と体性感覚誘発電位による脊髄機能評価の試み

中角祐治 鈴木孝子 大島義彦  
第12回脊髄電気診断研究会（東京）

- 210) 山形大式頸部脊柱管拡大術（片側侵入棘突起形成的片開き）の検討  
横田実 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 佐藤信彦  
伊藤友一 富樫耕司  
第63回日本整形外科学会（名古屋）
- 211) 片側侵入棘突起形成的頸部脊柱管拡大術  
大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 佐藤信彦  
伊藤友一  
第63回日本整形外科学会（名古屋）
- 212) 脊柱・脊髄を含めて腫瘍の全摘出を施行した胸椎部硬膜内mesenchymal  
chondrosarcomaの1例  
平本典利 高木理彰 大島義彦 林雅弘 横田実 伊藤友一  
第75回東北整形災害外科学会（山形）
- 213) F波と体性感覚誘発電位による脊髄機能評価について  
中角祐治 鈴木孝子 林雅弘 横田実 伊藤友一 太田吉雄 佐本敏秋 大島義彦  
第27回日本リハビリテーション医学会（福岡）
- 214) 平均加算されたF波の臨床応用の可能性について  
中角祐治 鈴木孝子 設楽正彰 安藤和正 折居和夫 石井政次 佐本敏秋  
大島義彦 原田順二  
第27回日本リハビリテーション医学会（福岡）
- 215) 蔵王スキー場におけるスキー外傷の動向  
山本博司 大島義彦 渡辺好博 結城正明  
第16回日本整形外科スポーツ医学会（東京）
- 216) F波におよぼす随意収縮の影響  
中角祐治 折居和夫 安藤和正 大島義彦 渡辺好博  
第5回日本整形外科学会基礎学術集会（神戸）
- 217) 胸椎黄色靭帯骨化症の手術例の検討  
富樫耕司 大島義彦 林雅弘 横田実 平本典利 伊藤友一 佐藤浩  
第39回東日本臨床整形外科学会（東京）
- 218) 頸部脊柱管拡大術に移植した遊離脂肪が脊髄圧迫を引き起こした1例  
林雅弘 大島義彦 横田実 長島太郎 富樫耕司 浜崎允  
第4回山形・琉球合同研究会（山形）



219) Lateral Herniaの経験

森倫夫 佐藤浩 朝比奈一三 山川正紀 大島義彦 林雅弘 長島太郎 平本典利  
第30回山形整形外科研究会 (山形)

220) 難治性の下肢限局性疼痛に対し腰神経後根切除術を施行した2症例の経験

佐藤信幸 斉藤聡 原田順二 大島義彦  
第76回東北整形災害外科学会 (秋田)

221) 頸部脊柱管拡大術後に生じた神経根性麻痺の検討

横田実 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 長島太郎 富樫耕司 武井寛  
第76回東北整形災害外科学会 (秋田)

222) 高度の不安定性を呈したCharcot Spineに対し血管柄付腸骨移植術を行った1例

佐藤浩 朝比奈一三 森倫夫 山川正紀 大島義彦 高柳誠 林雅弘 横田実  
第1回東北脊椎外科研究会 (仙台)

223) 転移性脊椎腫瘍に対する後方侵入前方除圧術の経験

長島太郎 大島義彦 林雅弘 森倫夫 尾鷲和也  
第77回東北整形災害外科学会 (福島)

224) 椎弓切除に加えて椎間関節切除がなされたヘルニア術後の腰椎不安定性に関する長期予後の検討

太田吉雄 佐本敏秋 林雅弘 大島義彦 横田実  
第31回山形整形外科研究会 (山形)

225) 新鮮脊柱楔状圧迫骨折初診時単純X線像の検討 -圧縮率についての考察-

渡辺彰博 佐藤政悦 鳥居伸行 武井寛 大島義彦  
第31回山形整形外科研究会 (山形)

226) 椎弓切除に加えて椎間関節切除がなされたヘルニア術後の腰椎不安定性に関する長期予後の検討

太田吉雄 佐本敏秋 大島義彦 林雅弘 横田実  
第20回日本脊椎外科学会 (旭川)

227) 転移性脊椎腫瘍における術式の選択

林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 長島太郎 尾鷲和也 富樫耕司  
第20回日本脊椎外科学会 (旭川)

- 228) 上位頸椎不安定症に対するwiring固定法の検討  
伊藤友一 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 佐藤信彦  
第78回東北整形災害外科学会 (仙台)
- 229) 前方からのアプローチにより手術を施行したSpinal enterogenic cystの1症例  
佐藤信彦 平本典利 浜崎允 大島義彦 林雅弘  
第78回東北整形災害外科学会 (仙台)
- 230) 同時除圧を行った頸部脊髄症と腰部脊柱管狭窄症の合併例の検討  
森倫夫 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也 伊藤友一 横田実 平本典利  
第2回東北脊椎外科研究会 (仙台)
- 231) 小児の重度腰椎迂り症の2手術例  
尾山かおり 太田吉雄 佐本敏秋 大島義彦 林雅弘 平本典利 長島太郎  
第2回東北脊椎外科研究会 (仙台)
- 232) 転移性脊椎腫瘍の手術療法  
大島義彦 林雅弘 森倫夫 伊藤友一 尾鷲和也 長島太郎 武井寛 平本典利  
佐藤信彦 佐藤浩 横田実  
第65回日本整形外科学会 (福岡)
- 233) 骨傷の明らかでない不全頸髄損傷の治療経験  
平本典利 大島義彦 林雅弘 佐藤浩 横田実 森倫夫 伊藤友一 長島太郎  
佐藤信彦  
第65回日本整形外科学会 (福岡)
- 234) 硬膜外腔に移植した遊離脂肪が脊髄圧迫を引き起こした1例  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 伊藤友一 武井寛  
第79回東北整形災害外科学会 (新潟)
- 235) 転移性脊椎腫瘍に対する手術療法の除痛効果  
長島太郎 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫  
伊藤友一 尾鷲和也 武井寛  
第21回日本脊椎外科学会 (神戸)
- 236) 脊髄髄内サルコイドーシスの1例 -MRI及び病理像について-  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 横田実 平本典利 森倫夫 伊藤友一 長島太郎  
尾鷲和也 佐藤信彦 横田実 横田雅宏  
第21回日本脊椎外科学会 (神戸)

237) 電気泳動によるヒト筋肉のtype分類

伊藤友一 渡辺好博 大島義彦 井田英雄 林雅弘 大畠信 後藤康夫  
第32回山形整形外科研究会 (山形)

238) 兎ヒラメ筋による廃用性筋萎縮の回復過程 -筋構成蛋白を中心に-

伊藤友一 渡辺好博 大島義彦  
第47回日本体力医学会大会 (山形)

239) 特別養護老人ホーム入所者のADLと骨粗鬆症

佐藤信彦 浜崎允 林雅弘 大島義彦  
第47回日本体力医学会大会 (山形)

240) 骨粗鬆症を基盤とした脊椎圧迫骨折後の遅発性脊髄麻痺に対する手術治療の経験

有井陽之介 大島義彦 林雅弘 太田吉雄 伊藤友一 武井寛 佐藤浩 平本典利  
横田実 森倫夫 長島太郎  
第41回東日本臨床整形外科学会 (東京)

241) ヒト筋肉のタイプ分類

伊藤友一 渡辺好博 大島義彦 林雅弘  
第12回山形県スポーツ医科学研究会 (山形)

242) 頸髄、上位胸髄腫瘍に対する山形大式脊柱管拡大術の応用

武井寛 大島義彦 太田吉雄 林雅弘 伊藤友一 佐藤浩 横田実 高木信博  
第80回東北整形災害外科学会 (弘前)

243) 脊柱管拡大術の骨欠損部に移植したハイドロキシアパタイト気孔内の骨形成の検討

長島太郎 大島義彦 林雅弘 横田実 武井寛 竹内啓泰  
第12回整形外科セラミックインプラント研究会 (東京)

244) 腹臥位頸椎手術後片側視力障害が発生した1頸髄損傷例の経験

大島義彦  
第3回東北脊椎外科研究会 (仙台)

245) 頸部後縦靭帯骨化症に対する前方除圧術後遅発性脳血管痙縮を来した1例

大島義彦  
第3回東北脊椎外科研究会 (仙台)

- 246) 脊髓腔造影による合併症  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋  
第3回東北脊椎外科研究会 (仙台)
- 247) Iatrogenic vertebral artery injury  
大島義彦  
第3回東北脊椎外科研究会 (仙台)
- 248) 頸部脊髓造影に際して生じた事故の1例  
太田吉雄 大島義彦  
第3回東北脊椎外科研究会 (仙台)
- 249) 蔵王スキー場におけるスキー開放創の実態調査とその予防対策の検討  
天野秀久 大島義彦 結城正明 後藤康夫 大島信 大類広 土田浩之  
第3回日本スキー学会 (山形)
- 250) 蔵王スキー場における最近4年間のスキー外傷実態調査  
平上健 大島義彦 結城正明 大島信 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
第3回日本スキー学会 (山形)
- 251) スキー場における有床診療所の役割 -蔵王診療所の3年間の診療結果から-  
松木達也 大島義彦 結城正明 大島信 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
第3回日本スキー学会 (山形)
- 252) MRIからみた頸椎脊柱管拡大術術後成績の検討  
伊藤友一 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 森倫夫  
佐藤信彦 長島太郎 武井寛  
第66回日本整形外科学会 (神戸)
- 253) 改良型Luque Instrument (G-rod) による脊椎外傷の治療経験  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫 伊藤友一  
佐藤信彦 長島太郎 武井寛  
第66回日本整形外科学会 (神戸)
- 254) 胸腰椎破裂骨折に対する内固定材料を用いない前方除圧固定術  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 横田実 平本典利 森倫夫 伊藤友一  
佐藤信彦 長島太郎 武井寛 有井陽之介  
第22回日本脊椎外科学会 (富山)

- 255) 放射線治療を受けた胸椎化膿性脊椎炎の治療経験  
林雅弘 大島義彦 伊藤友一 森倫夫  
第81回東北整形災害外科学会（福岡）
- 256) 脊椎に発生したbenign osteoblastoma (osteoid osteoma) の3例  
橋本淳一 平本典利 佐藤信彦 浜崎允 大島義彦 林雅弘  
第81回東北整形災害外科学会（福岡）
- 257) 環軸椎亜脱臼に対するMagerlの治療経験  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也 武井寛 横田実 高木信博 鳥居伸行  
田中井道夫 武田陽公 有井陽之介  
第34回山形整形外科研究会（山形）
- 258) 整形外科領域におけるインフォームド・コンセント  
大島義彦  
第34回山形整形外科研究会（山形）
- 259) RA spineに対する頸椎椎弓形成術の治療経験  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 横田実 有井陽之介  
第42回東日本臨床整形外科学会
- 260) 片開き脊柱管拡大術の骨欠損部に移植したハイドロキシアパタイト気孔内への  
骨伝導状態の実験的検討  
長島太郎 大島義彦 林雅弘 横田実 竹内啓泰  
第8回日本整形外科学会基礎学術集会（松本）
- 261) スキーによる開放創の検討  
天野秀久 大島義彦 結城正明 大島信 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
第4回日本臨床スポーツ医学会（東京）
- 262) 蔵王スキー場におけるスキー外傷の動向  
平上健 大島義彦 結城正明 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
第4回日本臨床スポーツ医学会（東京）
- 263) スキー場で発生した非外傷性疾患の検討  
－蔵王診療所の過去3年間の入院患者の分析から－  
松木達也 大島義彦 結城正明 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
第4回日本臨床スポーツ医学会（東京）

- 264) 棘突起温存式正中観音開き式脊柱管拡大術の術後成績  
林雅弘 大島義彦 伊藤友一 尾鷲和也 平本典利 横田実  
第82回東北整形災害外科学会（山形）
- 265) 脊髄髓内病変と組織像の検討  
林雅弘 大島義彦 佐藤浩 伊藤友一 尾鷲和也  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 266) 胸椎前方固定時の腸骨採取部への肋骨移植  
平本典利 佐藤信彦 林雅弘 大島義彦  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 267) 術後MRIにて脊髄腫大傾向を示した頸髄症2例  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也 平本典利 佐藤信彦  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 268) 痙性対麻痺に対するくも膜下フェノールブロック  
－胸髄損傷後の腰椎麻痺性側弯症の1例－  
尾鷲和也 大島義彦 林雅弘 伊藤友一  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 269) 山形大学式頸部脊柱管拡大術後MRIにおけるMetal Artifactの検討  
尾鷲和也 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 横田実  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 270) 化膿性脊椎炎のMRI像の検討  
笹木勇人 平本典利 佐藤信彦 寒河江正明 横田実 大島義彦 林雅弘  
第4回東北脊椎外科学会（仙台）
- 271) MRIにて脊髄輝度変化を伴ったむち打ち損傷の2例  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也  
第83回東北整形災害外科学会（秋田）
- 272) 山形大学式頸部脊柱管拡大術における頸・項部痛の検討  
寒河江正明 平本典利 大島義彦 林雅弘 佐藤信彦  
第83回東北整形災害外科学会（秋田）

- 273) 脊椎外科領域における術中回収式自己血輸血  
尾鷲和也 林雅弘 大島義彦 伊藤友一 太田吉雄 鳥居伸行  
自己血輸血シンポジウム (山形)
- 274) 頸部脊柱管拡大術 (山形大式) の長期成績 -術後5年以上経過例-  
林雅弘 大島義彦 佐藤浩 平本典利 横田実 森倫夫 伊藤友一 長島太郎  
尾鷲和也 佐藤信彦 武井寛  
第67回日本整形外科学会学術集会 (仙台)
- 275) RA頸椎の治療戦略の検討  
伊藤友一 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫 佐藤信彦  
長島太郎 尾鷲和也 武井寛  
第67回日本整形外科学会学術集会 (仙台)
- 276) 頸部後縦靭帯骨化症に対する山形大式脊柱管拡大術の成績  
林雅弘 大島義彦  
第9回日本脊椎外科学会 (津)
- 277) 頸部脊柱管拡大術の検討  
大島義彦 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫 尾鷲和也 伊藤友一  
佐藤信彦 長島太郎 武井寛  
第23回日本脊椎外科学会 (神戸)
- 278) 環軸椎亜脱臼に対する後方固定の治療経験  
伊藤友一 大島義彦 佐藤浩 林雅弘 横田実 平本典利 森倫夫 尾鷲和也  
佐藤信彦 長島太郎  
第23回日本脊椎外科学会 (神戸)
- 279) 骨移植による全周椎弓形成を行なった有茎棘突起形成片開き法の治療成績  
佐藤信彦 大島義彦 林雅弘 横田実 平本典利  
第23回日本脊椎外科学会 (神戸)
- 280) 蔵王診療所で治療したスノーボード外傷  
伊藤利江 大島義彦 結城正明 山川正紀 渡辺好博  
第14回山形県スポーツ医科学研究会 (山形)
- 281) 骨粗鬆症と運動実践  
大島義彦 渡辺好博 佐本敏秋 佐藤政悦 浜崎允 鳥居伸行  
第45回日本体育学会 (山形)

282) 血管柄付き肋骨移植の経験

林雅弘 大島義彦 佐藤信彦 笹木敬介  
第1回脊椎・脊髄神経手術手技研究会（東京）

283) 地域におけるリハビリテーションの需要の検討

－寒河江市における地域住民直接検診結果の分析－  
鳥居伸行 佐藤政悦 松田雅彦 針生光博 人見裕 大島義彦 佐本敏秋  
第84回東北整形災害外科学会（福島）

284) 地域住民の「リハビリテーション」の理解度に関する聞き取り調査結果

針生光博 佐藤政悦 鳥居伸行 松田雅彦 人見裕 大島義彦 佐本敏秋  
第84回東北整形災害外科学会（福島）

285) 骨粗鬆症の研究動向に関する考察

大島義彦  
第37回山形整形外科研究会（山形）

286) 突発性脊髄ヘルニアと思われる一例

蓮池尚文 大島義彦 林雅弘 佐藤信彦 笹木敬介  
第5回東北脊椎外科研究会（仙台）

287) 片開き式脊柱管拡大術の骨欠損部に移植したハイドロキシアパタイト気孔内  
への骨伝導状態の実験的検討

長島太郎 大島義彦 林雅弘 横田実 竹内啓泰  
日本整形外科学会雑誌, 67: S1317, 1993.

288) 頸髄不全損傷を伴った乳児軸椎歯突起骨折の一例

橋本淳一 太田吉雄 斎藤聡 原田順二 大島義彦  
第84回東北整形災害外科学会（福島）

289) 化膿性仙腸関節炎の5例

佐藤信彦 井川譲 石井淳二 宮川修一 佐藤浩 朝比奈一三 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 34: 33-38, 1990.

290) 脊髄腫瘍摘出術に際しておこなった形成的椎弓還納固定法

佐藤信彦 大島義彦 林雅弘 平本典利 尾鷲和也 寒河江正明 笹木勇人  
第84回東北整形災害外科学会（福島）



- 291) 神経線維腫症に合併した麻痺を伴う高度脊椎変形の1治療例  
－術前脊柱モデルの作製、およびGrooved Rod SSI(G-SSI)－  
尾鷲和也 大島義彦 林雅弘 佐藤信彦 伊藤友一 森倫夫  
第68回日本整形外科学会学術集会（横浜）
- 292) 脊髄髄内腫瘍におけるMRIと病理像の検討  
林雅弘 大島義彦 佐藤信彦 伊藤友一 尾鷲和也 笛木敬介  
第44回東日本臨床整形外科学会（宇都宮）
- 293) T2高信号を呈した頸髄症の術後MRI変化  
伊藤友一 平本典利 大島義彦 林雅弘 横田実  
第44回東日本臨床整形外科学会（宇都宮）
- 294) 脊髄腫瘍摘出術に際しておこなった形成的椎弓環納固定法（VTR）  
佐藤信彦 大島義彦 林雅弘 笛木敬介  
第2回脊椎・脊髄神経手術手技研究会（横浜）
- 295) 座長 主題「腰椎椎間板ヘルニアの治療法とその根拠」  
大島義彦  
第86回東北整形災害外科学会（新潟）
- 296) 高齢者の肩関節障害の疫学的調査  
後藤康夫 大島義彦 松田雅彦 村成幸  
第22回日本肩関節学会（奈良）
- 297) スキーによる脊椎外傷の検討  
武田陽公 林雅弘 大島義彦 高木理彰  
第39回山形整形外科研究会（山形）
- 298) 牽引整復を試みて脊髄麻痺の憎悪をみた片側性Facet interlockingの1例  
大島義彦 林雅弘 佐藤信彦 笛木敬介 佐藤政悦 人見裕  
第5回東北脊椎外科研究会（仙台）
- 299) 高齢者の整形外科疾患有病率の疫学的研究  
大島義彦 林雅弘 佐本敏秋 佐藤政悦 鳥居伸行  
第68回日本整形外科学会学術集会（横浜）

300) 改良型Luque Instrumentの術後成績

林雅弘 大島義彦 平本典利 横田実 森倫夫 佐藤信彦 伊藤友一 長島太郎  
尾鷲和也 笹木敬介  
第24回日本脊椎外科学会 (東京)

301) Magerl法におけるSonger cableの使用経験

笹木敬介 大島義彦 林雅弘 平本典利 横田実 伊藤友一 佐藤信彦 笹木勇人  
第24回日本脊椎外科学会 (東京)

302) 移転製脊椎腫瘍に対するSpinal Instrumentation

林雅弘 大島義彦 笹木敬介  
第10回日本脊椎外科学会 (京都)

303) 蔵王スキー場におけるスノーボード外傷

伊藤利江 山川正紀 渡辺好博 大島義彦  
第21回日本整形外科学会 (千葉)

304) 移転性脊椎腫瘍の治療

大島義彦  
第64回日本整形外科学会 (京都)

305) 頸部後縦靭帯骨化症に対する山形大式脊柱管拡大術の成績

林雅弘 大島義彦  
脊椎外科, 9: 17-24, 1995.

306) Expansive Open-Door Laminoplasty with Reconstruction of Spinous Process

大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 森倫夫 伊藤友一  
長島太郎 佐藤信彦 武井寛 有井陽之介  
Spinal Disorders in Growth and Aging, 263-269, 1995.

307) Surgical Indication, Procedure, and Method of Postoperative Evaluation for Spinal Metastasis

太田吉雄 大島義彦 林雅弘 長島太郎 佐本敏秋  
Spinal Disorders in Growth and Aging, pp69-75, 1995.

308) 改良型Hall frame

笹木敬介 林雅弘 佐藤信彦 大島義彦  
脊椎脊髄ジャーナル, 8: 573-575, 1995.

- 309) 術後MRIで脊髄腫大傾向を示した頸髄症の2例  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 平本典利 尾鷲和也 佐藤信彦  
臨床整形外科, 30 : 755 : 759, 1995.
- 310) 頸部脊柱管拡大術後の項頸部痛の検討  
寒河江正明 平本典利 伊藤友一 大島義彦 林雅弘 佐藤信彦  
第24回日本脊椎外科学会 (東京)
- 311) 不全頸髄損傷の治療法の検討  
大島義彦 佐本敏秋 佐藤浩 林雅弘 平本典利 横田実 尾鷲和也 森倫夫  
石川朗 佐藤信彦 伊藤友一 富樫耕司 長島太郎  
日本整形外科学会雑誌, 63 (2.3) : S 257, 1989.
- 312) F波におよぼす随意収縮の影響  
中角祐治 折居和夫 安藤和正 大島義彦 渡辺好博  
日本整形外科学会雑誌, 64(8) : S 1123, 1990.
- 313) 転移性脊椎腫瘍の治療  
大島義彦  
日本整形外科学会雑誌, 65 (2.3) : S 668, 1991.
- 314) 神経線維腫症に合併した麻痺を伴う高度脊椎変形の1治験例  
—術前脊柱モデルの作製、およびGrooved Rod SSI(G-SSI)—  
尾鷲和也 大島義彦 林雅弘 佐藤信彦 伊藤友一 森倫夫  
日本整形外科学会雑誌, 69 (2.3) : S 550, 1995.
- 315) 高齢者の整形外科疾患有病率の疫学的研究  
大島義彦 林雅弘 佐本敏秋 佐藤政悦 鳥居伸行  
日本整形外科学会雑誌, 69 (2.3) : S 454, 1995.
- 316) Follow-up study of modified Luque instrument (G-rod) for spinal trauma  
林雅弘 大島義彦 太田吉雄 佐藤浩 平本典利 横田実 伊藤友一 武井寛  
有井陽之介 渡辺好博  
Spinal Disorders in Growth and Aging, 9 : 77-84, 1995.
- 317) 脊椎・脊髄外科  
大島義彦  
外傷の救急治療, 渡辺好博、中沢省三、小林国男編, 南山堂, pp281-330, 1988.

- 318) 変形性膝関節症に対するクリノリル錠の治療効果  
三浦競郎 渡辺好博 大島義彦 横田実 所沢徹  
Progress in Medicine, 3(1): 82-87, 1983.
- 319) 頸肩腕症候群  
大島義彦  
今日の治療方針、日野原重明、阿部正和監修、医学書院 pp581-582, 1991.
- 320) 中・高年のスポーツと健康  
大島義彦  
HUMAN SPORTS SCIENCE, ヒューマンスポーツ研究会編, 中央法規出版,  
pp178-185, 1991.
- 321) 頸椎部の腫瘍  
大島義彦  
今日の整形外科治療方針, 辻陽雄編, 医学書院, pp521-523, 1994.
- 322) 新潟市の一私立救急病院で1年間に取り扱った「麻痺を伴う新鮮脊椎外傷18例」  
の治療経験  
大島義彦  
山形整形外科研究会会誌, 1: 5-9, 1979.
- 323) 頸椎脱臼整復後に脊髄麻痺の悪化(完全型)を来した1例  
石井淳二 小林勝 山原慎一 佐藤信幸 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 31: 265-267, 1988.
- 324) 蔵王スキー場におけるスキー開放創の実態調査とその予防対策の検討  
天野秀久 大島義彦 結城正明 後藤康夫 大畠信 大類広 土田浩之 渡辺好博  
日本スキー学会誌, 3: 76-81, 1993.
- 325) 蔵王スキー場における最近4年間のスキー外傷実態調査  
平上健 大島義彦 結城正明 大畠信 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
日本スキー学会誌, 3: 82-86, 1993.
- 326) スキー場における有床診療所の役割 -蔵王診療所の3年間の診療結果から-  
松木達也 大島義彦 結城正明 大畠信 後藤康夫 土田浩之 渡辺好博  
日本スキー学会誌, 3: 88-92, 1993.

- 327) 環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の治療経験  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也 武井寛 横田実 高木信博 鳥居伸行  
田中井道夫 武田陽公 有井陽之介  
山形整形外科研究会会誌, 6: 10-14, 1994.
- 328) ウォーミング・アップの電気生理学的検討  
中角祐治 多田利信 長岡進一 大島義彦 大貫義人  
第14回運動療法研究会講演論文集, 18-21, 1989.
- 329) 温泉の保健・医療・福祉的利用促進調査  
植田理彦 鈴木仁一 米地文夫 大島義彦 東海林辰雄 片桐進  
山形県高齢化社会研究所紀要, 9(3), 1990.
- 330) 高齢者の体力保持増進のための運動処方の研究開発  
大島義彦 大貫義人 佐本敏秋 浜崎允 長井健二  
山形県高齢化社会研究所紀要, 11(3), 1992.
- 331) Arthrodesis of the cervical spine in rheumatoid arthritis  
伊藤友一 大島義彦 太田吉雄 林雅弘 平本典利 武井寛  
Journal of Orthopaedic Surgery, 3: 39-45, 1995.
- 332) 東北・新潟7県における脊髄損傷の発生状況 (1989-1992)  
佐藤哲朗 阿部栄二 石井祐信 植山和正 内山政二 大島義彦 奥村博 勝見裕  
国分正一 佐藤光三 佐藤浩 林雅弘 平本典利 他9名  
東北整形災害外科紀要, 38(2): 244-248, 1994
- 333) MRI所見上脊髄輝度変化を伴ったむち打ち損傷の2例  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 尾鷲和也  
東北整形災害外科紀要, 38(1): 13-15, 1994.
- 334) 筋伸展反射の評価法・表示法に関する検討  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 中角祐治  
山形リハビリテーション医学会誌, 3: 2-18, 1993.
- 335) 日常生活強度と脊椎骨粗鬆症の関連について  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 松木宏史 中角祐治 宮下智 毛利光宏  
大森圭  
山形リハビリテーション医学会誌, 3: 19-26, 1993.

- 336) 食生活と脊椎骨粗鬆症の関連について  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 松木宏史 中角祐治 宮下智 毛利光宏  
大森圭  
山形リハビリテーション医会誌, 3: 27-35, 1993.
- 337) 急性期脳血管障害の精神機能評価について -概観と症例検討-  
毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 中角祐治  
山形リハビリテーション医会誌, 3: 26-48, 1993.
- 338) 顔面神経麻痺の回復傾向について  
毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 中角祐治  
山形リハビリテーション医会誌, 3: 58-62, 1993.
- 339) 足関節軸の検討 -解剖用屍体を使用して-  
宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 中角祐治  
山形リハビリテーション医会誌, 3: 63-67, 1993.
- 340) 脳卒中片麻痺患者の下肢能力の検討 -下肢伸展運動における特性-  
宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 中角祐治  
山形リハビリテーション医会誌, 3: 68-75, 1993.
- 341) 高齢者のリハビリテーションに関する理解度の調査研究  
宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 中角祐治 秋葉正 伊藤朋子 長岡進一  
渡辺桂一  
山形リハビリテーション医会誌, 4: 2-10, 1993.
- 342) 地域リハビリテーション医療の潜在的需要についての調査研究  
毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 中角祐治 大沼崇 秋葉真澄 石山浩之  
五十嵐由美子  
山形リハビリテーション医会誌, 4: 11-17, 1993.
- 343) 高齢者の脳卒中既往歴に関する実態調査  
毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 中角祐治 野竹恵 村山直 羽角裕子  
鳥居伸行 佐本敏秋  
山形リハビリテーション医会誌, 4: 18-22, 1993.

344) 高齢者の腰痛・下肢痛に関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 林雅弘 中角祐治 佐藤政悦 鳥居伸行  
佐本敏秋

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 23-27, 1993.

345) 高齢者の膝痛・膝機能に関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 林雅弘 中角祐治 佐藤政悦 鳥居伸行  
佐本敏秋

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 28-32, 1993.

346) 高齢者の転倒歴と骨折歴に関する実態調査

毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 林雅弘 中角祐治 岩田好子 石沢ひとみ  
大泉久美子 井上重雄

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 33-39, 1993.

347) 高齢者の老研式活動能力指標に関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 中角祐治 庄司由美子 横尾輝美 清野敏秀  
真木律子

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 39-44, 1993.

348) 高齢者の就労状況に関する実態調査

毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 中角祐治 明石英史 柴田美美枝 佐藤春美  
加藤信子

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 45-49, 1993.

349) 高齢者の10m歩行能力に関する実態調査

宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 伊藤友一 中角祐治 多田利信 鈴木一美  
武田輝美 高橋薫

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 50-54, 1993.

350) 高齢者の握力に関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 中角祐治 村川美幸 丹野克子 五十嵐守  
吉田智子

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 55-60, 1993.

351) 高齢者の残存歯数に関する実態調査

大島義彦 林雅弘 中角祐治 毛利光宏 宮下智 大森圭 佐藤政悦 鳥居伸行  
佐本敏秋

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 61-64, 1993.

352) 高齢者の視力に関する実態調査

林雅弘 大島義彦 中角祐治 毛利光宏 宮下智 大森圭 佐藤政悦 鳥居伸行  
佐本敏秋

山形リハビリテーション医学会誌, 4: 65-68, 1993.

353) 寝たきり高齢者の自立度に関する実態調査

宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 長岡進一  
佐藤朗

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 2-6, 1993.

354) 寝たきり高齢者の寝たきり原因に関する実態調査

毛利光宏 宮下智 大森圭 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 明石英史  
斎藤恵美子

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 7-12, 1993.

355) 寝たきり高齢者が受けている医療、リハビリテーションに関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 明石英史  
秋葉正

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 13-19, 1993.

356) 寝たきり高齢者の基本動作に関する実態調査

毛利光宏 大森圭 宮下智 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 伊藤朋子  
佐藤朗

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 20-25, 1993.

357) 寝たきり高齢者の基本動作における本人・家族の認識についての実態調査

宮下智 毛利光宏 大森圭 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 長岡進一  
斎藤恵美子

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 26-33, 1993.

358) 寝たきり高齢者の移動能力・生活範囲に関する実態調査

大森圭 毛利光宏 宮下智 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 野竹恵  
村山直

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 34-41, 1993.

359) 寝たきり高齢者の褥瘡に関する実態調査

毛利光宏 大森圭 宮下智 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 中角祐治 羽角裕子  
渡辺桂一

山形リハビリテーション医学会誌, 5: 42-46, 1993.



- 360) 腰椎椎間板狭小化、骨棘と脊椎骨粗鬆症の関係  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 松木宏史 中角祐治 宮下智 毛利光宏  
大森圭  
山形リハビリテーション医会誌, 5: 47-52, 1995.
- 361) 腰椎椎間板狭小化及び骨棘に関する研究  
- 中・高年女性の生活歴と腰椎X線像の分析 -  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 松木宏史 中角祐治 宮下智 毛利光宏  
大森圭  
山形リハビリテーション医会誌, 5: 53-66, 1995.
- 362) 胸腰椎、腰椎の楔状椎、魚椎変形の発生原因  
- 中・高年女性の生活歴と腰椎X線像の分析 -  
大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛 松木宏史 中角祐治 宮下智 毛利光宏  
大森圭  
山形リハビリテーション医会誌, 5: 67-77, 1995.
- 363) 転移性脊椎腫瘍に対するspinal instrumentation (改良型Luque Rod) の臨床成績  
- 転移性脊椎腫瘍122例139手術の検討 -  
林雅弘 大島義彦, 笛木敬介  
脊髄外科, 10: 19-26, 1996.
- 364) 頸椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術 - 3年以上経過例 -  
林雅弘 大島義彦 伊藤友一  
第11回日本脊髄外科学会 (名古屋)
- 365) 環軸椎亜脱臼に対する後方固定術の治療経験  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘  
第11回日本脊髄外科学会 (名古屋)
- 366) contrast-enhanced 3D SPGR法を用いた腰椎椎間板ヘルニアのMRI  
伊藤友一 平本典利 大島義彦 林雅弘 渡辺奈美  
第25回日本脊椎外科学会 (名古屋)
- 367) サクランボ収穫作業で発生した外傷の考察  
寒河江正明 佐藤政悦 桑添裕光 鳥居伸行 橋本淳一 渡辺好博 大島義彦  
第44回日本災害医学会 (東京)

- 368) 脊髄腫瘍摘出術に際しておこなった形成的椎弓還納固定法  
佐藤信彦 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 武井寛  
第31回日本パラプレジア学会 (横浜)
- 369) 片側侵入、棘突起形成的 (山形大式) 頸部脊柱管拡大術  
武井寛 大島義彦 林雅弘 伊藤友一 佐藤信彦  
第31回日本パラプレジア学会 (横浜)
- 370) 高齢者の腰痛および下肢痛の有病率の疫学調査  
林雅弘 大島義彦 武井寛 橋本淳一 佐藤政悦 鳥居伸行  
第88回東北整形災害外科学会 (盛岡)
- 371) 高齢者における腰部脊柱管狭窄症に対する椎弓切除術の術後成績について  
橋本淳一 佐藤政悦 寒河江正明 林雅弘 武井寛 大島義彦  
第88回東北整形災害外科学会 (盛岡)
- 372) 転移性脊椎腫瘍に対するinstrumentationの工夫  
林雅弘 大島義彦 平野弘之 伊藤友一 武井寛  
脊椎脊髓ジャーナル, 9(7): 545-550, 1996.
- 373) 胸・腰椎破裂骨折の診断と治療方針  
林雅弘 大島義彦 平野弘之  
Orthopaedics, 9(7): 65-74, 1996.
- 374) 新鮮胸・腰椎外傷の治療方針  
大島義彦 平野弘之  
Orthopaedics, 9(7): 1-4, 1996.
- 375) 高齢者の肩関節障害の疫学的調査  
後藤康夫 村成幸 松田雅彦 寒河江正明 佐藤哲也 大島義彦  
肩関節, 20(1): 205-208, 1996.
- 376) 山形大式椎弓形成術後の頸部後縦靱帯骨化症進展 - 3年以上経過例 -  
林雅弘 荻野利彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一 大島義彦  
脊椎外科, 11(1): 61-66, 1997.
- 377) Contrast-enhanced 3D SPGR法を用いた腰椎椎間板ヘルニアのMRI  
伊藤友一 大島義彦 林雅弘 平本典利 渡辺奈美  
脊椎脊髓ジャーナル, 10(3): 243-247, 1997.

- 378) 当科における脊髄髄内腫瘍の小経験  
林雅弘 大島義彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一  
第7回東北脊椎外科学会（仙台）
- 379) 機能訓練による寝たきり高齢者の身体的機能訓練  
武井寛 林雅弘 大島義彦 橋本淳一 井田英雄 佐本敏秋 佐藤政悦 鳥居伸行  
第70回日本整形外科学会学術集会（札幌）
- 380) 改良型Luque rod（G-rod）を使用した頸椎後方固定の臨床成績  
林雅弘 荻野利彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一 大島義彦  
第12回日本脊髄外科学会（大阪）
- 381) 脊髄髄内腫瘍の手術経験  
林雅弘 荻野利彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一 大島義彦  
脊椎脊髄ジャーナル，10(11)：1035－1041，1997.
- 382) 術中大出血の実践的対処法（分担執筆）  
林雅弘 荻野利彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一 大島義彦  
整形外科治療のコツと落とし穴－全身の問題－，山内康雄，小野村敏信，小林晶 編，  
中山書店，pp16－17，1997.
- 383) 高齢者健常肩の機能評価と加齢的变化  
後藤康夫 村成幸 松田雅彦 桃井義敬 荻野利彦 大島義彦  
第24回日本肩関節学会（京都）
- 384) 女性の運動歴と骨密度  
林雅弘 伊藤友一 荻野利彦 大島義彦 中角祐治  
第90回東北整形災害外科学会（秋田）
- 385) 胸髄損傷後の痙性麻痺患者に生じた腰椎側弯変形の1治験例  
－くも膜下フェノール・ブロックの応用－  
尾鷲和也 林雅弘 伊藤友一 大島義彦  
臨床整形外科，32(6)：681－684，1997
- 386) 環軸椎亜脱臼に対する後方固定術の治療経験  
伊藤友一 林雅弘 大島義彦  
日本脊髄外科学会機関誌，11(2)：151－158，1997.

- 387) 脊髄髄内腫瘍の手術経験  
林雅弘 荻野利彦 伊藤友一 武井寛 橋本淳一 大島義彦  
脊椎脊髄ジャーナル, 10(11): 1035-1041, 1997.
- 388) 乳児に発生した頸髄不全損傷を伴った軸椎歯突起骨折の一例  
橋本淳一 斎藤聡 原田順二 林雅弘 大島義彦  
東北整形災害外科紀要, 41(1): 26-29, 1997.
- 389) 山形大学式頸椎管拡大術後MRIにおけるワイヤー・アーチファクトの検討  
尾鷲和也 林雅弘 伊藤友一 大島義彦 横田実  
東北整形災害外科紀要, 41(2): 185-188, 1997.
- 390) 機能訓練による寝たきり高齢者の身体機能の増進  
林雅弘 大島義彦 佐本敏秋 武井寛 橋本淳一 井田英雄 佐藤政悦 鳥居伸行  
第70回日本整形外科学会学術集会 (札幌)
- 391) RA頸椎に対する頸椎椎弓形成術の治療経験 -第2報-  
伊藤友一 林雅弘 荻野利彦 平本典利 大島義彦  
第47回東日本整形災害外科学会 (秋田)
- 392) 転移性脊椎腫瘍に対する手術的治療成績  
林雅弘 伊藤友一 笹木勇人 橋本純一 荻野利彦 大島義彦  
第47回東日本整形災害外科学会 (秋田)
- 393) 寝たきり高齢者の身体機能に対する機能訓練の効果  
林雅弘 伊藤友一 大島義彦 中角祐治 鳥居伸行  
第35回日本リハビリテーション医学会学術集会 (弘前)
- 394) 高齢者における腰・下肢痛の有病率 -疫学調査-  
林雅弘 伊藤友一 大島義彦 中角祐治 鳥居伸行  
第35回日本リハビリテーション医学会学術集会 (弘前)
- 395) 骨密度と運動歴の関連  
林雅弘 伊藤友一 荻野利彦 大島義彦 中角祐治 鳥居伸行  
第35回日本リハビリテーション医学会学術集会 (弘前)
- 396) RA spineに対する頸椎椎弓形成術の治療経験 -第2報-  
伊藤友一 荻野利彦 林雅弘 平本典利 大島義彦  
東日本臨床整形外科学会誌, 11: 64-68, 1999.

- 397) 頸部椎弓形成術の頸部痛 –外固定期間との関連–  
林雅弘 小林真司 伊藤友一 大島義彦  
第37回日本リハビリテーション学会 (東京)
- 398) 当市における高齢者の膝痛、10m歩行速度と骨密度調査  
鳥居伸行 林雅弘 伊藤友一 大島義彦  
第37回日本リハビリテーション学会 (東京)
- 399) 交通事故に伴ういわゆる“むち打ち損傷”の中・長期予後調査  
伊藤友一 大島義彦 平本典利 武田陽公  
第30回日本脊椎脊髄病学会 (高知)
- 400) 地域からみた高齢者のリハビリテーションの需要に関する調査研究  
塩飽仁 大島義彦  
山形医学, 15(1): 55–64, 1997.
- 401) 老人施設における高齢者の転倒状況のパターン分類の検証  
沼沢さとみ 佐藤幸子 齋藤明子 井上京子 片桐智子 鈴木克彦 伊藤友一  
内田勝雄 八木忍 大島義彦  
山形保健医療研究, 6: 63–68, 2003.
- 402) Browsing「整形外科手術」  
シネ, アトラス&テキスト CD-ROM  
Vol.2 脊椎  
四方實彦 伊藤友一 大島義彦 都築暢之他  
南江堂, 2003年6月30日
- 403) 子どものスポーツ医学入門  
大島義彦監修 NPOライフサポート協会著  
山海堂, 2003年7月30日

# 教員の個人調書

(その1)

履 歴 書				
フリガナ 氏 名	オオ シマ ヨシ ヒコ 大 島 義 彦	男	本籍地又は 国 籍	山形県
生年月日(年齢)	昭和16年1月2日(満58才)	現 住 所	山形県山形市桜田西四丁目1-14	
学 歴				
年 月	事 項			
昭和41年3月 昭和41年4月 昭和43年1月 昭和55年12月25日	新潟大学医学部卒業 新潟大学医学部附属病院にて実地修練(インターン)開始 医籍登録(第195661号) 医学博士の学位授与(新潟大学)			
職 歴				
年 月	事 項			
昭和43年1月 昭和45年4月 昭和48年4月 昭和53年7月 昭和54年7月 平成8年4月 平成9年4月 平成12年4月 平成15年3月	新潟大学医学部副手(昭和45年3月まで) 新潟大学医学部附属病院医員(昭和48年3月まで) 新潟大学医学部助手(整形外科学)(昭和53年6月まで) 新潟大学医学部附属病院講師(整形外科)(昭和54年6月まで) 山形大学医学部助教授(整形外科学)(平成8年3月まで) 山形大学医学部看護学科教授(地域看護学)(平成9年3月まで) 山形県立保健医療短期大学理学療法学科教授・学科長 山形県立保健医療大学教授・理学療法学科長 山形県立保健医療大学退職			
学会及び社会における活動等				
年 月	事 項			
昭和42年5月 昭和42年5月 昭和42年5月 昭和46年4月 昭和50年4月 昭和52年4月 昭和52年4月 昭和52年4月 昭和54年4月	日本整形外科学会会員(現在に至る) 東日本臨床整形外科学会会員(現在に至る) 東北整形災害外科学会会員(現在に至る) 日本整形外科学会評議員(現在に至る) 労災基金審査委員(昭和54年3月まで) 新潟県技能検定委員(昭和53年3月まで) 日本整形外科学会定款等検討委員会委員(昭和54年3月まで) 日本電々公社業務災害認定委員(昭和54年3月まで) 日本整形外科学会卒後臨床教育委員会委員(現在に至る)			

昭和55年 4月	山形県肢体不自由児総合療育訓練センター開設準備委員（昭和56年 3月まで）
昭和55年 4月	日本整形外科学会認定医制度委員会委員（昭和58年 3月まで）
昭和57年 4月	日本整形外科学会認定医（現在に至る）
昭和62年10月	山形県アイスホッケー連盟副会長（現在に至る）
昭和63年 4月	庄内地域県立病院設計調査専門部会委員（平成元年 3月まで）
昭和63年 4月	山形スポーツ医科学研究所副所長（現在に至る）
昭和63年 8月	日本体育協会公認スポーツドクター（現在に至る）
平成元年 4月	日本脊椎外科学会会員（現在に至る）
平成元年 8月	日本体力医学会会員（現在に至る）
平成 2年 4月	東北脊椎外科研究会幹事（現在に至る）
平成 3年 1月	第3回トレーニング科学研究会副会頭
平成 3年10月	日本リハビリテーション医学会会員（現在に至る）
平成 4年 4月	山形県スポーツリーダー
平成 5年 4月	日本整形外科学会認定医試験問題作成選定委員（現在に至る）
平成 5年 4月	高齢者医療研究センター（仮称）整備基本構想・基本計画検討委員会委員
平成 6年 1月	第4回東北脊椎外科研究会主催（評議員）
平成10年 2月	社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会理事（現在に至る）
平成11年 6月	財団法人山形県体育協会医科学委員会委員（現在に至る）

(その2)

# 教育研究業績書

平成11年7月6日

氏名 大島義彦

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 腕神経叢と胸郭出口の検査：整形外科診断学	共著	昭和57年	金原出版	腕神経叢、胸郭出口部の解剖、整理、外傷、圧迫、変性、腫瘍などによる障害の診断技術を詳述。pp.228-241 (分担執筆) (辻陽雄、高橋栄明 編)
2. 腰椎部腫瘍：腰痛	共著	昭和58年	金原出版	腰痛を来す腫瘍性疾患の診断法と治療学。pp.241-251 (分担執筆) (蓮江光男、鈴木勝己、山内裕雄 編)
3. 脊椎、脊髄外傷：外傷の救急医療	共著	昭和63年	南山堂	脊椎脊髄外傷のバイオメカニクス、初期治療、診断治療の進め方を詳述。pp.281-330 (分担執筆) (渡辺好博、中沢省三、小林国男 編)
4. 頰肩腕症候群：1991今日の治療方針	共著	平成3年	医学書院	頰肩腕症候群の分類と診断法、治療法を述べた。pp.581-582 (分担執筆) (日野原重明、阿部正和 監修)
5. 中・高年のスポーツと健康：HUMAN SPORTS SIENCE	共著	平成3年	中央法規出版	中・高年の体力増進についての意義、評価方法を記述。pp.178-185 (分担執筆) (ヒューマンスポーツ研究会 編集)
6. 上位頸髄腫瘍：整形・形成外科診療 QUESTION& ANSWERS	共著	平成3年	六法出版	上位頸髄腫瘍に特徴的な症候の発現機序と診断法を詳述。337pp.4-7 (分担執筆) (井上哲郎、桜井実、杉岡洋一、蓮江光男、廣谷速人、室田景久、大島 穰、藤野豊美、牧野惟男 編集)
7. 頰肩腕症候群の保存療法－疾患概念の整理及び発症機序に基づく分類と治療－：整形外科Mook	共著	平成5年	金原出版	頰肩腕症候群の概念を整理して、診断基準を提唱。慢性疲労症候群が本症候群と同じものである旨の仮説を提唱。 (分担執筆)
8. 頸椎部の腫瘍：今日の整形外科治療指針	共著	平成10年	医学書院	頸椎部に発生する腫瘍性疾患の診断治療のポイントを検討。(分担執筆) (辻陽雄 編)
9. 整形外科の治療	共著	印刷中	廣川書店	整形外科全般にわたり最新の治療法、特に保存治療、手術治療の使い分けについて焦点を絞った、研修医対象の教科書。大島は編者であると共に、脊椎脊髄領域を担当。 (渡辺好博、松原 統、大島義彦監修)



著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 1. 診断上問題になった足部骨病巣の4例	共著	昭和43年	東北整形災害外科紀要	変容してきた骨関節結核の臨床像の報告と骨腫瘍、非特異性炎症との鑑別。 11pp. 96-105 菊井英進、馬場義治、 <u>大島義彦</u>
2. 脊椎転移を主症状とした腎盂移行上皮癌の1剖検例	共著	昭和43年	整形外科	極めて稀な腎盂移行上皮癌の脊椎転移の移行経路の検討 20pp. 447-449 菊井英進、馬場義治、 <u>大島義彦</u>
3. Clonus tumorの4例	共著	昭和44年	東北整形災害外科紀要	Clonus tumorの疼痛発生機序の神経組織学的検討。 12pp. 238-243 <u>大島義彦</u> 、菊井英進、馬場義治
4. 肘の関節性屈曲位拘縮の治療経験	共著	昭和44年	東北整形災害外科紀要	関節に起因する肘の屈曲位拘縮を原因疾患別に、その治療法を検討した。 13pp. 6-9 菊井英進、馬場義治、 <u>大島義彦</u>
5. 多発性血管腫を伴える多発性軟骨腫(Muffucci Syndrome)の1例	共著	昭和44年	東北整形災害外科紀要	稀な骨系統疾患の1症例報告 12pp. 231-234 菊井英進、馬場義治、 <u>大島義彦</u>
6. 難治であった肩手症候群の1例	共著	昭和44年	整形外科	反射性交感神経性萎縮の一病型である肩手症候群の難治例に対する治療上の工夫を報告。 20pp. 54-59 菊井英進、馬場義治、 <u>大島義彦</u>
7. 兄弟にみられたdisplasia epiphysialis multiplex	単著	昭和45年	東北整形災害外科紀要	稀な骨系統疾患であるdisplasia epiphysialis multiplexの同胞発生例の報告。 13pp. 276-284
8. 痙直性斜頸の治療における心理的アプローチの重要性	共著	昭和47年	整形外科	痙直性斜頸8例の非観血的治療成績と本症に対する観血的治療法との比較検討。 23pp. 581-588 齋藤英彦、 <u>大島義彦</u> 、前田富士雄、菊井英進
9. いわゆるテニス肘に対する短橈側手根筋腱延長術の成績と検討	共著	昭和47年	整形外科	本邦では導入されていない国外のテニス肘に対する新術式の手術成績の報告とテニス肘の発症原因の解剖学的研究 23pp. 848-845 <u>大島義彦</u> 、齋藤英彦、前田富士雄、大湊八郎

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
10. テニス肘 (epicondylitis humeri lateralis) の手術	共著	昭和48年	手術	本邦では報告のないテニス肘に対する短橈側手根伸筋腱延長術の手術術式の紹介と、自験例の手術成績の報告。 27pp. 12-16 大島義彦、斎藤英彦、前田富士雄、大湊八郎
11. 腰仙椎部奇形と脊椎分離症の関連についての検討	共著	昭和49年	東北整形災害外科紀要	中学生、高校生1,035名の腰椎X線像の調査により腰仙椎部奇形と脊椎分離症の合併頻度が有意に高いことを報告。 17pp. 306-310 金子二司夫、皆川弘義、大島義彦、胡顕宗、東條猛
12. 大腿四頭筋拘（または短）縮症-県下における実態調査と関連して-	共著	昭和50年	新潟県医師会報	全国的に多発をみた注射による大腿四頭筋短縮症の新潟県内の検診結果の報告と治療法に関する考察。 11pp. 1-5 田島達也、大島義彦
13. 脊椎 facet interlocking PO 症例の治療経験	共著	昭和50年	東北整形災害外科紀要	脊椎facet interlockingの治療法として一般的でない従手整復術の治療成績と、その適応に関する検討。 18pp. 265-271 渡辺一郎、蛭谷勉、皆川弘義、大島義彦
14. 骨髄炎を多発した小児慢性肉芽腫症 (chronic granulomatous disease) の長期観察例	共著	昭和51年	東北整形災害外科紀要	本邦報告10症例めの発症から剖検まで観察し得た免疫不全症小児慢性肉芽腫症の臨床病理学的報告。 19pp. 245-252 東條猛、村沢章、大島義彦、渡辺一郎
15. 腰仙椎部椎弓の骨化進展過程と脊椎分離症発生との関連についての検討	共著	昭和51年	東北整形災害外科紀要	脊椎分離症発生機序の研究の一環として、胎児34例、幼児学童592名の椎弓の骨化進展状況を調査。腰仙椎部の椎弓は中学生の後半まで骨化が終了せず、これまでに機械的ストレスが過大になると椎弓の形成不全、脊椎分離症が発生することを示唆した。 19pp. 332-339 金子二司夫、大島義彦、蛭谷勉、渡辺一郎、藤田鉄雄、秋本毅
16. 骨髄炎を多発した小児慢性肉芽腫症 (chronic granulomatous disease) の長期観察例	共著	昭和51年	臨床整形外科	小児慢性肉芽腫症の報告と文献的、免疫学的、病理学的検討。 11pp. 86-91 東條猛、村沢章、大島義彦、渡辺一郎

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
17. 頸部脊髄症に対するskull tractionの治療経験	共著	昭和52年	東北整形災害外科紀要	頸部脊髄症25例に対するskull traction治療成績を報告し、治療適応と頸部脊髄症の発症要因における動的因子の関与を明らかにした。 20pp. 181-184 児島 充、大島義彦、渡辺一郎、皆川弘義
18. 頸部脊髄症の臨床像と治療成績	共著	昭和52年	東北整形災害外科紀要	頸部脊髄症性脊髄症の臨床像の分析及びこれに対応した治療成績の報告。 20pp. 185-187 金子二司夫、大島義彦、蛭谷 勉、渡辺一郎、東條 猛、児島 充、本間隆夫、安川敬一郎
19. 誘発脊髄電位による機械的障害時の脊髄機能の可逆的判定について	共著	昭和52年	医学のあゆみ	雑種成犬27頭の脊髄亜急性圧迫後の脊髄麻痺の可逆性を病理学的、電気生理学的に検討。誘発脊髄波の振幅の低下が1/2までは、脊髄機能は可逆的であることを報告し臨床応用への道を開いた。 102pp. 871-874 安川敬一郎、高橋栄明、大島義彦、蛭谷 勉
20. 二重盲検法によるMobirat軟膏の上肢腱鞘炎に対する効果の検討	共著	昭和52年	基礎と臨床	狭窄性腱鞘炎に対し、二重盲検法を用いての副腎エキス軟膏の治療効果を検討し、本剤の効果が有意に高いことを報告。 11pp. 179- 斎藤英彦、大島義彦
21. PRIMITIVE NEUROECTODERMAL TUMOR (NEUROEPITHELIOMA) OF SPINAL NERVE ROOT	共著	昭和56年	Acta Path Jap	28歳男のspinal ganglionに発生した砂時計腫が多発性骨転移をおこし死亡、剖検。組織学的にprimitive neuroectodermal tumorで、これの経代培養に成功 (Nagai line)。ロゼット形成とカタコールアミン物質の分泌を証明。 29pp. 289-301 Shinobu Ishikawa, Yoshihiko Ohshima, Yoshihiko Suzuki, Soichi Oboshi
22. 背部皮膚臍状陥凹を主訴とした脊椎被裂症例の手術経験	共著	昭和56年	東北整形災害外科紀要	潜在性脊椎被裂の稀な一病型の検査手術所見報告。 24 朝比奈一三、渡辺好博、大島義彦、佐本敏秋
23. 馬尾神経部のpost infections arachnoiditisの1手術経験	共著	昭和56年	東北整形災害外科紀要	手術的治療効果はほとんどないとされている馬尾を巻き込んだpost infections arachnoiditisに対して、高倍率鏡視下のmicrodissection遊離脂肪移植術を行い、

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				多少の症状の改善を試みた旨の報告。 24pp. 245-252 大島義彦、須田昭男、佐本敏秋、浜崎 允
24. 脊椎腫瘍150症例の症候学的及び診断学的検討	単 著	昭和56年	整形災害外科	学位論文:脊椎腫瘍の症候学に「進行度」の概念を設定、検証した他、foramen magnum tumorに診断上有用な症候を「時計回り型麻痺」と命名。 24pp. 885-8958
25. 変形性膝関節症に対するGEA6414の二重盲検法による臨床試験	共 著	昭和56年	基礎と臨床	非ステロイド性抗炎症性鎮痛剤、トルフェナム酸の抗炎症性鎮痛効果を100症変形性関節症に対し、二重盲検試験を行いコントロールとして設定したインドメサシンと比べ、有意差ない旨報告。 15pp. 493-533 井村正昭、古賀良生、中野正春、間淵公一郎、堂前洋一郎、大島義彦、田島達也
26. 腰痛と腰部腫瘍	単 著	昭和57年	整形災害外科	腰痛をきたす腰部、脊椎、脊椎腫瘍の症候学、診断学、治療学の最新の進歩の総説。 25pp. 1983-1993
27. Cafamycin系抗生物質の骨皮膚及び骨髄内への移行濃度について	共 著	昭和57年	臨床整形外科	難治である骨関節感染症の効果的治療を検討するために、cafmetazoleの静注後の骨皮質、骨髄での濃度を骨手術例16例の経時的に測定するとともに、骨髄炎16例、化膿性関節炎5例に対する臨床効果を検討。 17pp. 1008-1009 井川 譲、林 雅弘、高柳 誠、浜崎 允、佐本敏秋、須田昭男、渡辺好博、大島義彦
28. Cefmetazoleの骨組織内の移行動態	共 著	昭和58年	東北整形災害外科紀要	Cefmetazole静脈注射後、一定時間後の血液皮質骨、海綿体の濃度分析を測定。 26pp. 5-8 井川 譲、高柳 誠、浜崎 允、須田昭男、大島義彦、渡辺好博
29. 非定型的第4腰椎椎弓骨折の1例	共 著	昭和58年	東北整形災害外科紀要	非定型的第4腰椎椎弓骨折のバイオメカニクスの検討。 26pp. 99-102 友岡和彦、大島義彦、太田吉雄、佐藤政悦、根元忠信
30. 変形性膝関節症に対するクリノリン錠の治療効果	共 著	昭和58年	Progress in Medicin	非ステロイド性消炎鎮痛剤スリダクスの単純臨床治療報告。 3 pp. 82-87 三浦競郎、渡辺好博、横田 実、所沢 徹、大島義彦

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
31. Spinal Cordectomyを施行した髄内悪性腫瘍の2例	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	悪性脊髄内腫瘍に対する腫瘍を含めた、脊髄切断摘出術の治療経験の報告。 27pp. 98-100 山原慎一、大島義彦、佐本敏秋、友岡和彦、小野勝男、比佐成夫
32. 多発性頸椎症に対する椎管拡大術の経験	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	業者が考案した頸部背柱管拡大術の新術式の紹介と、成績。 27pp. 114-117 友岡和彦、大島義彦、佐本敏秋、太田吉雄、朝比奈一三、佐藤政悦、山原慎一
33. 乳癌手術後放射線照射により腕神経叢麻痺を生じた例の手術経験	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	難治性の照射による腕神経麻痺に対する腕神経叢剥離術の治療成績の報告の手術経験。 27pp. 189-191 高柳 誠、渡辺好博、大島義彦、佐本敏秋、村田紳悦、鈴木 聡
34. Segmental Wiring法による椎骨固定術を施行した3症例の検討	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	Rodを用いたsegmental sublamina wiring法による椎骨固定術の治療経験の報告。 27pp. 202-204 山崎幸雄、大島 信、大島義彦、浜崎 允、横田 実、佐本敏秋
35. さくらんぼ収穫作業で発生した外傷の考察	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	特異な産業災害であるさくらんぼ収穫作業に伴う外傷の発生数、分類、災害発生要因の分析と予防法の提言。 28pp. 56-62 佐藤政悦、大島義彦、山崎幸雄、大島 信
36. 中国黒竜江省からの帰国者に見られたKaschin-Beck病と考えられた2症例	共著	昭和58年	東北整形災害外科紀要	Kaschin-Beck病の検査所見治療結果の詳細な報告。 28pp. 167-170 折居和夫、山崎幸雄、土田浩之、森 倫夫、朝比奈一三、浜崎 允、大島義彦
37. 椎弓形成的脊髄腫瘍摘出術後の経験	共著	昭和59年	東北整形災害外科紀要	脊髄腫瘍摘出術において旧来の椎弓切除に代わる方法として椎弓形成法の手術成績を報告。 28pp. 199-201 太田吉雄、小林 勝、齋藤 聡、石井淳二、佐本敏秋、大島義彦
38. スポーツにより発生した離断性骨軟骨炎とPanner病	共著	昭和60年	整形外科スポーツ医学会誌	肘の離断性骨軟骨炎とPanner病の報告と異同に関する考察。 4 pp. 55 朝比奈一三、渡辺好博、大島義彦、結城正明、湊 純

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
39. 多発外傷患者に対する整形外科的プライマリ・ケアの経験	共著	昭和60年	整形災害外科	第1～3次救急を扱う救急告示病院における多発外傷の分類と、診断、治療の進め方の実践的手法の検討。 28pp. 141-152 齊藤英彦、大島義彦
40. 単純X線上石灰像を示した頸部脊髓腫瘍(髄膜腫)	共著	昭和61年	東北整形災害外科紀要	非定型的髄膜腫の症例報告。 30pp. 260- 鳥居信行、小林 勝、山原慎一、宮川修一、矢島美穂子、大島義彦
41. 脊椎外傷について	単著	昭和62年	セラピスト	脊椎外傷の初期治療、手術治療、予後、後療法の総説。 8 pp. 23-27
42. Spinal cordotomyを施行した原発性悪性脊髓内腫瘍の3例	共著	昭和63年	東北整形災害外科紀要	脊髓内内の原発性悪性腫瘍に対し、未だ報告のない腫瘍を含めた脊髓切除術を施行。一卵性双生児の片方に発生した、小児germinomaは術後腫瘍マーカーの正常化、的早熟の改善をみているが、malignant astrocytomaの1例は脳移転で死亡、他の1例は経過観察中と報告。 31pp. 225-228 吉岡信弥、大島義彦、佐本敏秋、山崎幸雄、富樫耕司、友岡和彦、山原慎一、林 雅弘、横田 実
43. 頸椎脱臼整復後に脊髓麻痺の変化(完全型)を来した1例	共著	昭和63年	東北整形災害外科紀要	現在の標準的治療法である頸椎脱臼に対する頭蓋牽引整復法により、脊髓麻痺の悪化をみた旨を報告し、本治療法が必ずしも安全でないことを指摘。 31pp. 265-267 石井淳二、小林 勝、山原慎一、佐藤信行、大島義彦
44. 頸椎外傷後に脳幹部梗塞を来した1例	共著	昭和63年	東北整形災害外科紀要	麻痺を伴わない頸椎脱臼骨折例が受傷後12時間で、片麻痺を発症した。検査の結果、骨折部で椎弓動脈損傷を合併し、その部にできた血栓がはずれ脳の梗塞を来したと判明、迅速な抗凝固療法で症状が軽快した極めて稀な症例の報告。 32pp. 235-238 横田 実、大島義彦、佐本敏秋、林 雅弘、浜崎 允、平本典利
45. RA Spineに対する手術例30例の検討	共著	平成元年	東北整形災害外科紀要	RA Spine30例の手術後の術後経過を検討 頸椎の部分的固定術後、新たな不安定性の発生が少なからずみられ、全頸椎固定術が制動効果を期待できる脊柱管拡大術が有効

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				であることを示した。 33pp. 366-370 伊藤友一、大島義彦、佐本敏秋、林 雅弘、太田吉雄、佐藤 浩、平本典利、横田 実、佐藤信彦
46. 中・下位頰椎の外傷性脱臼（骨折）整復術	共 著	平成元年	Orthopaedics	中・下位頰椎の外傷性脱臼、骨折に対する初期治療、各種治療法の中で実践的な治療体系を組み概説とした。 10pp. 79-82
47. Mc Graw法を応用した後頭骨軸椎間固定術の試み	共 著	平成元年	東日本臨床会誌	後頭骨、骨軸椎間固定術の新しい術式を開発し、5例の好成績を報告。 1 pp. 2-5 横田 実、大島義彦、佐本敏秋、林 雅弘、佐藤 浩、平本典利
48. ウォーミング・アップの電気生理学的検討	共 著	平成元年	第14回運動療法研究会講演論文集	経験的に伝えられている、ウォーミング・アップの外傷予防効果を20名の高校生、大学生の電気生理学的検査をウォーミング・アップの前後に施行し、反応時間の短縮を示し、これが中枢神経レベルでの情報処理過程の促進効果とした。 pp. 18-21 中角祐治、多田利信、長岡信一、大島義彦、大貫義人
49. 転移性脊椎腫瘍の手術適応と術式の選択	共 著	平成2年	脊椎脊髓ジャーナル	著者らは本邦で最多の転移性脊椎腫瘍の手術例を報告してきたが、これらの経験から導かれた手術適応、術式の選択について提案したものの。 3 pp. 291-299 林 雅弘、大島義彦
50. HTL,V-1 associated myelopathy (HAM) の2症例	共 著	平成2年	東北整形災害外科紀要	HTL, V-1感染による脊髓麻痺を呈した稀な症例の診断学的検討。 34pp. 18-21 林 雅弘、大島義彦、横田 実、伊藤友一、石川 朗、浜崎 允
51. 頰椎後方除圧に生じた神経根性麻痺の検討	共 著	平成2年	東北整形災害外科紀要	頰椎後方除圧に伴ってみられる一過性の神経障害の発生状況が著者が創始した脊柱管拡大術では4%にみられ、諸家の報告と同様であった旨を報告。 34pp. 377-380 横田 実、大島義彦、佐本敏秋、太田吉雄、佐藤 浩、林 雅弘、平本典利、森 倫夫、伊藤友一

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
52. 蔵王スキー場における肩関節周囲外傷－肩関節脱臼、鎖骨骨折などの発生要因について－	共著	平成2年	臨床スポーツ医学	昭和63年度蔵王スキー場で発生した肩関節周囲外傷の疫学的調査の結果、247例、全スキー外傷の16.5%を占めた。肩関節脱臼は急斜面で、鎖骨骨折、肩鎖関節脱臼は緩斜面での発生が多かった。 7pp. 52-55 伊藤友一、渡辺好博、大島義彦、山本博司、佐本敏秋、後藤康夫、結城正明
53. 転移性脊椎腫瘍の生命予後	共著	平成2年	手術	転移癌患者の生命予後の本格的研究は殆どみられないが、本稿では転移性脊椎腫瘍に対する手術治療を行った100例、保存療法を行った89例の予後調査の結果、乳癌では重要臓器への転移のないもの、肺癌でも骨硬化像を示すものは予後が良好で手術の有無では差がなかった。 44pp. 1155-1159 伊藤友一、大島義彦、佐本敏秋、佐藤浩、林雅弘、平本典利
54. 1988年度、蔵王スキー場において発生したスキー外傷の分析	共著	平成2年	日本整形外科スポーツ医学会誌	蔵王スキー場の1シーズンにおけるスキー外傷の疫学調査、分類、受傷機転の分析。 9pp. 173-177 結城正明、渡辺好博、大島義彦、山本博司、浜崎允、佐本敏秋、伊藤友一
55. 平成元年度スキー診療報告書	共著	平成2年	蔵王診療所・山形スポーツ医科学研究所報	蔵王スキー場における1シーズンに発生したスキーヤーの疾患、外傷の疫学、分類の報告。 2pp. 17-51 大島義彦、山本博司、結城正明
56. 転移性脊椎腫瘍に対する対麻痺に対する手術的治療	共著	平成3年	整形外科	新潟大学における転移性脊椎腫瘍50例の手術治療の結果、麻痺の実用的改善は不全麻痺で86%、完全麻痺で41%に得られ術後生存期間は麻痺改善群で平均17ヵ月、非改善群で平均3.4ヵ月で、これらの麻痺改善維持期間は術後生存期間の75%を占めていた。 42pp. 1991-1999 内山政二、本間隆夫、中村敬彦、高橋栄明、大島義彦
57. 山形県におけるスポーツ活動への医学的取り組み	共著	平成3年	健康と体力	スポーツ活動におけるスポーツ医学の意義と山形県の現況調査報告。 23pp. 46-49 大貫義人、大島義彦



著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
58. 改善型Luque instrumentationの開発と臨床応用	共著	平成3年	別冊整形外科	著者の考案によるLuque Rodにら線型の溝を掘ったG-Rodの開発意義、強度試験臨床応用結果の報告。 20pp. 45-49 林 雅弘、大島義彦、佐本敏秋、佐藤 浩、横田 実、富樫耕司、伊藤友一、長島太郎
59. 脊柱管拡大術－片側侵入、有茎棘突起形成方開き法－	共著	平成3年	脊椎脊髓ジャーナル	著者が創始した頸部脊椎拡大術の手術術式の解説紹介。 4 pp. 577-583 大島義彦、佐藤 浩、林 雅弘、横田 実、平本典利
60. 成人脛骨に発症したdysplasia epiphysealis hemimelicaの1例	共著	平成3年	東北整形災害外科紀要	稀な骨系統疾患を有する膝関節遊離体手術例の臨床的、病理的、病理学的検討。 35pp. 105-108 武井 寛、高木信博、佐藤政悦、大島義彦
61. 難治性の下肢限局性疼痛に対し腰椎神経後根切除術を施行した2症例の経験	共著	平成3年	東北整形災害外科紀要	反射性交換性萎縮、帯状疱疹例の難治性下肢疼痛に対し、後根切除を施行しても疼痛の改善が僅かであった旨を報告。 35pp. 215-217 佐藤信幸、大島義彦、斉藤 聡、原田順二
62. 転移性脊椎腫瘍に対する後方侵入前方除圧術の経験	共著	平成3年	東北整形災害外科紀要	脊椎の前方からの圧迫性病変は、前方侵入で除圧する従来の方式に代わり後方からの術式を提唱。 35pp. 256-259 長島太郎、大島義彦、林 雅弘、森 倫夫、尾鷲和也
63. 上位頸椎不安定性に対するWiring固定法の検討	共著	平成3年	東北整形災害外科紀要	後頭～環軸の不安定性に対するwiring固定法の経験を検討し、その中でMagerl法が最良であり脊柱管狭窄例に対しては、著者が創始した山形大式拡大術と併用すべきと提唱。 35pp. 362-365 伊藤友一、大島義彦、佐藤 浩、林 雅弘、平本典利、横田 実、森 倫夫、佐藤信彦、長島太郎、尾鷲和也
64. 胸椎黄色靭帯骨症の手術例の検討	共著	平成3年	東日本臨床整形外科学会雑誌	胸椎黄色靭帯骨症の椎弓切除術後の脊柱変形の発生状況を報告。 3 pp. 517-519 富樫耕二、大島義彦、林 雅弘、横田 実、平本典利、伊藤友一、佐藤 浩
65. 硬膜外腔に移植した遊離脂肪が脊髄圧	共著	平成4年	東北整形災害外科紀要	術後の脊髄神経根癒着防止のために遊離移植した脂肪が術後肥大し、脊髄の再圧迫を

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
迫を起こした1例				生じた症例の経過を報告。この種の報告は他にみられない。 36pp. 109-112 林 雅弘、大島義彦、太田吉雄、伊藤友一、武井 寛、横田 実
66. 外傷性脊髄損傷患者に対する横隔膜ベーシングの経験	共 著	平成4年	臨床整形外科	自発呼吸が困難な第2頸椎脱臼骨折による頸髄損傷例に施行した横隔膜ベーシングの成功例の報告。 27pp. 1027-1030 武井 寛、高木信博、笹木勇人、星 新一、永井博子、尾鷲和也、大島義彦
67. 学童生徒の腰痛症—過去3年間の経験—	共 著	平成5年	山形県医師会誌	過熱した学童のスポーツ障害の多くの部分を占める腰の障害の本県における発生状況と治療結果を報告。 別冊499pp. 22-26 林 雅弘、大島義彦、渡辺好博
68. 転移性脊椎腫瘍に対する手術療法の除痛効果	共 著	平成5年	臨床整形外科	悪性腫瘍の脊椎転移例に対して行った113例127手術の痛みに関する治療成績の検討を報告。 28pp. 285-265 長島太郎、大島義彦、太田吉雄、佐藤 浩、林 雅弘、横田 実、平本典利、森 倫夫、伊藤友一、尾鷲和也、武井 寛
69. 転移性脊椎腫瘍の痛みと治療による除痛効果の評価	共 著	平成5年	ペインクリニック	転移性脊椎腫瘍の痛みに関する治療効果の判定に独自にペインスケールを設定し、これに基づき治療成績評価を提案した。 14pp. 259-265 長島太郎、大島義彦、太田吉雄、佐藤 浩、林 雅弘、横田 実、平本典利、森 倫夫、伊藤友一、尾鷲和也、武井 寛
70. 小さな髄内腫瘍—診断及び治療上の問題点—	共 著	平成5年	脊髄外科	直径5mm程度の脊髄髄内腫瘍の臨床的特徴診断法、治療法を検討。 7pp. 46-51 三井公彦、田中千彦、橘 慈国、矢田賢三、林 雅弘、大島義彦、望月真人、守屋秀繁
71. 蔵王スキー場におけるスキー開放創の実態調査とその予防対策の検討	共 著	平成5年	日本スキー学会誌	蔵王スキー場における4年間のスキーによる開放創845例の好発部位、発生原因を調査し、予防法を提言。 3pp. 76-81 天野秀久、大島義彦、結城正明、後藤康夫、大島 信、大類 広、土田浩之、渡辺好博

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
72. 蔵王スキー場における最近4年間のスキー外傷実態調査	共著	平成5年	日本スキー学会誌	蔵王スキー場における最近4年間のスキー外傷全般の臨床的、疫学的報告。疫学的に正確なスキー外傷の報告は、他に例をみない。 3pp. 82-86 平上 健、大島義彦、結城正明、大島 信、後藤康夫、土田浩之、渡辺好博
73. スキー場における有床診療所の役割ー蔵王診療所の3年間の診療結果からー	共著	平成5年	日本スキー学会誌	スキー場では内科的疾患が多発する実態は全く報告がない。その臨床的特徴と治療のあり方を報告。 3pp. 88-92 松本達也、大島義彦、結城正明、大島 信、後藤康夫、土田浩之、渡辺好博
74. 頸髄・上位胸髄腫瘍に対する山形大学式脊柱管拡大術の応用	共著	平成5年	整形災害外科	著者が創始した術式を頸髄・上位胸髄腫瘍摘出術に応用し好結果を得た報告。 36pp. 1227-1234 武井 寛、大島義彦、林 雅弘、佐藤 浩、横田 実、高木信博
75. 頸髄症術前後成績によるMRI信号変化の検討ー特にT2信号変化についてー	共著	平成5年	臨床整形外科	MRI, T2信号強度の異常は、頸髄症の手術治療成績を反映する旨の報告に対し、著者の結果をもとに反論。 28pp. 1221-1227 伊藤友一、大島義彦、太田吉雄、佐藤 浩、林 雅弘、平本典利、横田 実、佐藤信彦、長島太郎、武井 寛
76. 骨粗鬆症を基盤とした脊椎圧迫骨折後の遅発性脊髄麻痺に対する手術治療経験	共著	平成5年	東日本臨床整形外科学会5	骨粗鬆症を基盤とした脊椎単純圧迫骨折がその後不安定型の破壊骨折に進行して脊髄症状を呈する例を報告し、著者が考案したG-rodを用いた手術成績が優れている旨を述べた。 pp. 235-238 有井陽之介、大島義彦、林 雅弘、太田吉雄、伊藤友一、武井 寛、佐藤 浩、平本典利、横田 実、森 倫夫、長島太郎
77. ヒト筋肉のタイプ分類	共著	平成5年	山形整形外科研究会誌5	人間の骨格筋の筋タイプを組織化学、構造タンパクの分析から検討し、傍脊柱筋のタイプ構造を報告し、その働き、訓練法を述べた。 pp. 23-27 伊藤友一、渡辺好博、大島義彦、林 雅弘、鈴木康夫、梅津和夫
78. 筋伸展反射の評価法・表示法に関する検討	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	筋伸展反射 (muscle stretch reflex) の評価法、表示法に関しては、日常診療で簡便に用いることが出来る徒手筋力測定法のよ

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				<p>うな、確立された方法はない。そこで筋伸展反射の6段階の評価・表示基準を設定し、神経学、脊椎外科学の専門家22名とこれに関する30分の教育を施した医学生、新人医師25名に対して同一患者の筋伸展反射の評価を行って貰った。専門家の可成りの一致を見たが、医学生、新人医師の評価は十分には満足できるものではなかった。</p> <p>p. 2-18 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘・伊藤友一・武井 寛・中角祐治</p>
79. 日常生活活動強度と脊椎骨粗鬆症の関連について	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	<p>腰・下肢痛を訴え医療機関を受診した40歳以上の女性209人に対し、生活歴などの問診結果および単純X線像（第11胸椎から仙椎までの正面像、側面像）を分析した。対象例209人の年齢は40～87歳平均64.3歳であった。定期的に運動を生活に取り入れている女性は約20%で、60～70歳代に多く、1週あたりの平均運動時間は2.87時間である。過去6ヵ月間の平均生活活動強度は老年群（70～87歳）では、壮年（40～54歳）、熟年群（55～69歳）に比べて大きく低下し、過去6ヵ月間の平均生活活動強度が高い例に骨粗鬆度が軽度であった。40～69歳では、青年壮年期の平均生活活動度が高い例は骨粗鬆度が軽度であった。</p> <p>p. 19-26 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘・伊藤友一・武井 寛・松木宏史・橋本妙子・中角祐治・宮下 智・毛利光宏・大森 圭</p>
80. 食生活と脊椎骨粗鬆症の関連について	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	<p>食生活と骨粗鬆症の関連を検討するために、腰・下肢痛を訴え医療機関を受診した209人の女性に対し、食生活歴などの問診結果および単純X線像を分析した。対象例の年齢は40～87歳、平均64.3歳であった。ダイエット経験の有無、成長期の牛乳やヨーグルトの摂取、調査時の酒、牛乳、緑黄色野菜、豆腐・豆類、チーズ・ヨーグルト、肉類、小魚まるごと、魚などの摂取度と慈大式評価基準による脊椎骨粗鬆症との間の関連を検討したが、これらすべてに統計的有意差は見られなかった。</p> <p>p. 27-35 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘・伊藤友一・武井 寛・松木宏史・橋本妙子・中角祐治・宮下 智・毛利光宏</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
81. 急性期脳血管障害の精神機能評価について —概観と症例報告—	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	急性期脳血管障害患者の精神機能評価について、意識障害、通過症候群、知能水準としての評価法について概観し、理学療法士の視点から一症例を紹介し検討した。患者は、脳外科手術直後で、臨床上軽度意識障害および前頭葉症候群を呈し、経過観察するための尺度としてMMSや立方体模写課題が適切と思われた。理学療法士が運動療法を実施するにあたって、適切な課題水準を設定するために、精神機能を把握する必要があると思われる。p. 36-48 共同執筆者 毛利光宏・宮下 智 大森 圭・大島義彦・中角祐治
82. 顔面神経麻痺の回復傾向について	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	89例の顔面神経麻痺患者の回復過程について検討した。性別では、やや女性におおい傾向があった。Bell麻痺およびハント症候群の改善状況は良好であったが、腫瘍によるものは改善不良例が多かった。100日以上の期間が必要であった症例では、病的共同運動などの後遺症を示すことが多く、閉眼と口角の引きつれは全例に認めた。表情筋の回復過程では、前頭筋、眼輪筋、口輪筋の順で改善していく傾向があった。最後まで困難な表情は、「片目を閉じる」「口をへの字にする」であった。p. 58-62 共同執筆者 毛利光宏・宮下 智 大森 圭・大島義彦・中角祐治
83. 足関節軸の検討 —解剖用屍体を使用して—	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	解剖学実習用に供された屍体の足部38足を使用し、底屈運動に対する軸について検討した。距骨には、距骨滑車関節軸と考えられる軸が認められ、距骨滑車内外果の頂点を結んだ線に対し、 $12.4^{\circ}$ (SD=6.2) の傾きを示していた。距骨滑車関節軸は脛骨内果の下方10mm、前方7mm、腓骨外果の上方5mm、前方9mmを結ぶ線上に存在し、先行研究の結果と相違点が見いだされた。装具処方や運動学を進める際に考慮する必要があると考えられる。p. 63-67 共同執筆者 宮下 智・毛利光宏 大森 圭・大島義彦・中角祐治
84. 脳卒中片麻痺患者の下肢能力の検討 —下肢伸展運動における特性—	共著	平成5年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第3巻	脳卒中片麻痺患者の麻痺側および非麻痺側の仕事量・筋力・運動効率を比較した。麻痺側のBrunnstrom recovery stageが上がるほど、麻痺側による仕事量・運動効率が減少することは仮設通りであったが、麻痺側が、Brunnstrom recovery stageⅢの非

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				麻痺側では、他のstageの脳卒中片麻痺の非麻痺側より仕事量が、約20%の低下を認めた。このことから、脳卒中片麻痺の治療訓練を行う上で、麻痺の重い患者ほど非麻痺側へ協調性を含めた強化の必要性が示唆された。p. 68-75 共同執筆者 宮下 智・毛利光宏・大森圭・大島義彦・中角祐治
85. 効率のよいトレーニングを行うための基礎医科学	単著	平成6年2月	SPORTS LIFE やまがた7	スポーツ障害を回避し、競技力の向上を図る、効率の良いトレーニング法を考える歳の基礎医化学を論じた。pp. 4
86. RA spineに対する頸椎椎弓形成術の治療経験	共著	平成6年2月	東日本臨床外科学会誌6	慢性進行性病変であるRA頸椎に対する可動性温存とそれを可能にする演者らの術式を提案したpp. 85-89 (担当：企画と考察に参画) 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、横田 実、有井陽之介
87. 環軸椎亜脱臼に対するMagerl法における若干の工夫	共著	平成6年5月	整形・災害外科37	環軸椎亜脱臼に対するMagerl法における、演者らの術式上の改良点を報告した。 pp. 595-599 (担当：手術と考察に参画) 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、尾鷲和也
88. 野球肩	単著	平成6年10月	SPORTS LIFE やまがた8	野球で生じる肩関節障害の発生バイオメカニクスを解説し、その予防策、治療法、トレーニング法を論じた。pp. 4
89. 環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の治療経験	共著	平成6年12月	山形県整形外科研究会誌6	環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の紹介と実施上のバイオメカニクスを論じた。 (担当：手術と考察に参画) pp.10-14 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、尾鷲和也
90. 高齢者のリハビリテーションに関する理解度の調査研究	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	地域リハビリテーション医療に対する実態把握のためにモデル地区を設定し、そこに住む全ての高齢者および寝たきり高齢者を対象に地域リハビリテーション医療に対する理解度を調査した。調査率はそれぞれ99.8%、100%であった。この結果、受療経験の多い都市部生活者が最も理解があり、受療経験の少ない山村部生活者の理解度が低かった。高齢者に対する地域保健医療サービス情報の普及、地域リハビリテーション医療に対する啓蒙活動の必要性が示唆された。p. 2-10 共同執筆者 宮下 智・毛利光宏・大森圭・大島義彦・中角祐治・秋葉 正・伊藤朋子・長岡進一・渡辺桂一

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
91. 地域リハビリテーション医療の潜在的需要についての調査研究	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む全ての65才以上の630名の高齢者を対象に、地域リハビリテーション医療の需要について調査した。調査率は99.8%であった。高齢者には潜在的な需要量があると判断されたが、これに反して本人の受療希望は非常に低いものであった。これはリハビリテーションの意義・目的について知られていないことが原因であると思われる。</p> <p>p. 11-17 共同執筆者 毛利光宏・宮下 智 大森 圭・大島義彦・中角祐治・大沼崇・秋葉真澄・石山浩之・五十嵐由美子</p>
92. 高齢者の脳卒中既往歴に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>脳卒中患者に対する地域リハビリテーションサービス充実のために、Y県S市を代表とする地域を抽出し、そこに住む寝たきり者を除く65才以上の高齢者630名を対象に脳卒中既往歴に関する調査を行った。調査率は99.8% (623名) であった。既往歴のある人は44人 (7.1%) であった。実数を把握し、重度化・寝たきりを予防するリハビリ対策が必要であり、脳卒中発症前の健康維持活動も重要であると思われる。</p> <p>p. 18-22 共同執筆者 毛利光宏・宮下 智・大森圭・大島義彦・中角祐治・野竹 恵 村山 直・羽角裕子・鳥居伸行・佐本敏秋</p>
93. 高齢者の腰痛・下肢痛に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む65才以上の高齢者630名の腰痛・下肢痛の現状を調査した。調査率は99.8% (623名) であった。腰痛・下肢痛の発症率は年齢に差はなく一定の発症率であった。しかし、その程度を評価すると、加齢とともに重度化する傾向がみられた。腰痛や下肢痛を起こしたときに治療やリハビリテーションを受ける人は、非常に少なく自分で軽度と判断しても、専門家の判定を受けるような指導が必要である。</p> <p>p. 23-27 共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・林 雅弘 中角祐治・佐藤政悦・鳥居伸行・佐本敏秋</p>
94. 高齢者の膝痛・膝機能に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の膝痛・膝機能の現状を調査し、調査率は99.8% (623名) であった。膝痛の発症率は加齢とともに減少する傾向</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				<p>があるが、その程度を評価すると加齢とともに重度化する傾向がみられた。また、女性の方に発症率が高く、ある程度の年齢に達した際には、専門家の判定を受けられるようなシステムの構築が必要である。</p> <p>p. 28-32 共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・林 雅弘・中角祐治 佐藤政悦・鳥居伸行・佐本敏秋</p>
95. 高齢者の転倒歴と骨折歴に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の65才以上の高齢者を対象に、骨折と転倒に関する実態調査を行い、調査率は99.8%であった。転倒頻度は全体の4%であった。骨折の主原因は転倒で女性に多い傾向がみられた。加齢とともに転倒頻度は高くなり、自宅などの環境要因に対する指導や考慮の必要性が高いと思われた。p. 33-38</p> <p>共同執筆者 毛利光宏・宮下 智 大森 圭・大島義彦・林 雅弘・中角祐治 岩田好子・石沢ひとみ・大泉久美子 井上重雄</p>
96. 高齢者の老研式活動能力指標に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>高齢者の生活能力の実態を把握し、より対応力のある地域リハビリテーション医療の提供を目的に、老研式活動能力指標を用いて実態調査を行った。13項目全問で可能と答えた人は308人(49.9%)であった。11項目以上が可能と答えた人は全体の75%であった。65才以上の在宅老人のADL自立度はかなり高く、健康維持、障害予防を目的に、各老人のこれまでのライフスタイルをよく理解した上で、主体的活動への援助という形を具体化していくべきであろう。</p> <p>p. 39-44 共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・中角祐治 庄司由美子・横尾輝美・清野敏秀 真木律子</p>
97. 高齢者の就労状況に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の65才以上の高齢者を対象に、就労に関する調査を行い、調査率は99.8%であった。高齢化に伴い就労率は低下するものの、全体で6割の人が何らかの仕事を持っていることがわかった。高齢者にとって社会・家庭内で役割を持っていることは、生活基盤の確立、生きがい、健康</p>



著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				<p>状態からも重要であると思われた。</p> <p>p. 45-49</p> <p>共同執筆者 毛利光宏・宮下 智 大森 圭・大島義彦・中角祐治・明石英史 柴田扶美枝・佐藤春美・加藤信子</p>
98. 高齢者の10m歩行能力に関する実態調査	共 著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>65才以上の高齢者630名のうち測定が実施できた523名を対象に、10m歩行速度の計測を行った。全平均値、性別平均値、年齢別平均値で正常値を上回っていた。これは、努力性歩行によるものと思われた。この結果は、実用性の高さで健康維持のために質的なアプローチの有効性を示していると考えられる。</p> <p>p. 50-54</p> <p>共同執筆者 宮下 智・毛利光宏 大森 圭・大島義彦・中角祐治・伊藤友一 多田利信・鈴木一美・武田輝美・高橋 薫</p>
99. 高齢者の握力に関する実態調査	共 著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の65才以上の高齢者を対象に、握力に関する調査を行った。調査率は99.8%であった。この結果、60才代については、これまで報告された平均値に近いが、70才代、80才代については男女とも低かった。握力が単に上肢機能だけでなく、日常の活動性と関連があると言われていることから、地域リハビリテーション医療サービスとしては、70才代、80才代の高齢者を中心に健康指導などを実施すべきであろう。</p> <p>p. 55-60</p> <p>共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・中角祐治・村川美幸 丹野克子・五十嵐守・吉田智子</p>
100. 高齢者の残存歯数に関する実態調査	共 著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	<p>Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の65才以上の高齢者を対象に、残存歯数の現状を調査した。調査率は99.8%であった。残存歯数は、加齢とともに減少していくが、65才から84才までは平均して2本程度、女性より男性の方が多かった。また、老研式活動能力指標との比較では、能力の高いものほど残存歯数が多い傾向が認められた。</p> <p>p. 61-64</p> <p>共同執筆者 大島義彦・林 雅弘 宮下 智・毛利光宏・大森 圭・中角祐治 佐藤政悦・鳥居伸行・佐本敏秋</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
101. 高齢者の視力に関する実態調査	共著	平成6年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第4巻	Y県S市を代表する地域を抽出し、そこに住む高齢者630名の65才以上の高齢者を対象に、視力の現状とADLとの関連で調査した。調査率は99.8%であった。視力低下にともないADLに影響を及ぼす人は全体の10%を占めた。男女差はないものの、加齢とともに視力は次第に低下する傾向がある。しかし目の治療訓練とともに、環境整備や家屋改造をすることによって、その機能を高める可能性があることも示唆された。 p. 65-68 共同執筆者 林 雅弘・大島義彦 宮下 智・毛利光宏・大森 圭・中角祐治 佐藤政悦・鳥居伸行・佐本敏秋
102. RA頸椎に対する我々の治療方針	共著	平成7年1月	脊椎脊髓ジャーナル8	RAに好発する頸椎病変に対しては、RAの活動性、全身のADL、全脊柱の状態を見極めて、それに対応する治療戦略をたてるべきことを報告した。 pp. 67-72 (担当：企画と考察) 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、平本典利
103. 誘発脊髄電位による機械的障害の脊髄機能の可逆性判定について	共著	平成7年1月	山形医学13	圧迫性脊髄症モデル実験により、脊髄機能の可逆性判定指標を報告した。 p. 111 (担当：企画と考察) 大島義彦、安川敬一郎
104. Arthrodesis of the cervical spine in rheumatoid arthritis	共著	平成7年3月	Journal of Orthopaedic Surgery	慢性関節リウマチによる頸椎病変に対する環軸椎固定術の成績の推移と最近施行している、Magerl法の優秀性を述べ、その際に生じる注意事項を整理し提起した。 (担当：考察) 伊藤友一、大島義彦、太田吉雄、林 雅弘、平本典利、武井 寛
105. テニス肘	単著	平成7年3月	SPORTS LIFE やまがた9	テニスで生じる肘関節障害の発生バイオメカニクスを解説し、その予防策、治療法、トレーニング法を論じた。pp. 4
106. 脊椎骨粗鬆症に関する調査研究報告	共著	平成7年3月	山形県環境保健部保健予防課	脊椎骨粗鬆症の生活歴・日常生活強度と腰椎X線検査所見をリンクさせ、209名の腰痛患者について骨粗鬆症の臨床疫学調査を施行し、これを分析した。 総頁数29頁 大島義彦、松本宏史、林 雅弘、平野弘之、伊藤友一、橋本妙子、宮下 智、毛利光宏

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
107. 肩開き法脊柱管拡大術の骨欠損部に移植したハイドロキシアパタイト気孔への骨伝導の実験的検討	共著	平成7年4月	日本整形外科学会誌69	骨欠損部に架橋移植したハイドロキシアパタイト気孔内への骨伝導の実験的検討を行い、両方向から良好な骨伝導が起こることを報告した。pp. 222-230 (担当：企画と考察) 長島太郎、 <u>大島義彦</u>
108. 術後MRIで脊髄腫大傾向を示した頸髄症の2例	共著	平成7年6月	臨床整形外科30	圧迫性頸髄症に対し後方除圧術を施行したところ、術後のMRIで脊髄の腫大、T2高輝度領域の拡大が見られた症例を報告。これはこれまで報告が見られない新知見である。pp. 755-759 (担当：企画と考察) 伊藤友一、 <u>大島義彦</u> 、林 雅弘、平本典利、尾鷲和也、佐藤信彦
109. 頸部後縦靭帯骨化症に対する山形大式脊柱管拡大術の成績	共著	平成7年9月	脊椎脊髄ジャーナル9	本人が考案した山形大式脊柱管頸部脊柱管拡大術を頸部後縦靭帯骨化症69例に施行し、その成績が極めて満足し得るものであったことを報告した。pp. 17-24 (担当：企画と考察) 林 雅弘、 <u>大島義彦</u>
110. 寝たきり高齢者の自立度に関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者と登録された183名を対象に、地域リハビリテーションサービスの充実を図るために、障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準を用いて、「寝たきり度」に関する調査を行った。寝たきりと判定されたものは、134名で、生活自立6名、準寝たきり40名、障害なし3名が含まれていた。寝たきりの出現率は、これまでに報告されたものとはほぼ同じであった。p. 2-6 共同執筆者 宮下 智・毛利光宏 大森 圭・ <u>大島義彦</u> ・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・長岡進一・佐藤 朗
111. 寝たきり高齢者の寝たきり原因に関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市における寝たきり高齢者に対する地域リハビリテーションサービス充実のために、寝たきりになった原因を134名を対象に調査を行った。脳血管障害によるものが約4割で、外傷は1割であった。脳血管障害に対する早期リハビリテーションサービスを充実させ、重度化や寝たきり防止を働きかける必要がある。また、転倒が原因で寝たきりとなる場合も多いので、転倒防止の工夫も必要である。p. 7-12 共同執筆者 毛利光宏・大森 圭 宮下 智・ <u>大島義彦</u> ・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・明石英史・斉藤恵美子

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
112. 寝たきり高齢者が受けている医療、リハビリテーションに関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者134名を対象に、寝たきりとなった当初および現在受けている医療・リハビリテーションについて聞き取り調査を行った。医療機関への受療率は高かったが、リハビリテーションを受ける人は少なく、需要も少ないという結果であった。リハビリテーションの顕在的な需要が低い原因としては、リハビリテーション医療を提供し得る医療機関が少ないこと、理学療法士、作業療法士等のリハビリテーションスタッフに対する理解度も低いことによるものと思われる。p.13-19 共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・明石英史・秋葉 正
113. 寝たきり高齢者の基本動作に関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者134名、全員を対象に、基本動作について家族より聞き取り調査を行い調査率は100%であった。自立度は1年前、(1年未満の退院時)から現在までに機能低下した割合は全体の約2割であり、比較的機能が保たれているとも考えられるが、積極的リハビリテーションを行うことにより、機能低下の予防、時には機能低下の向上も見込まれる可能性が示唆された。p.20-25 共同執筆者 毛利光宏・大森 圭 宮下 智・大島義彦・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・伊藤朋子・佐藤 朗
114. 寝たきり高齢者の基本動作における本人・家族の認識についての実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者134名、全員を対象に、基本動作について聞き取り調査を行い、調査率は100%であった。基本動作遂行能力について、寝たきり高齢者本人あるいは家族の主観的な判断と、理学療法士・作業療法士が対象者に実際の能力を評価したものを比較した。その結果、「できる基本動作」と「している基本動作」の状態が、専門職と本人・家族との間で認識の差が確認された。p.26-33 共同執筆者 宮下 智・毛利光宏 大森 圭・大島義彦・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・長岡進一・斉藤恵美子
115. 寝たきり高齢者の移動能力・生活範囲に関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者134名、全員を対象に、移動能力・生活範囲について家族より聞き取り調査を行った。調査率は100%であった。現在の移動能力は全体の約7割が全介助以下のレベルで、生活範囲

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				も減少していることがわかった。 p. 34-41 共同執筆者 大森 圭・毛利光宏 宮下 智・大島義彦・林 雅弘・伊藤友一 中角祐治・野竹 恵・村山 直
116. 寝たきり高齢者の褥創に関する実態調査	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	Y県S市の寝たきり高齢者134名、全員を対象に、褥創について家族より聞き取り調査を行った。調査率は100%であった。結果は、1年前（1年未満の退院時）に褥創のあった寝たきり高齢者は15.7%、現在は19.4%に増加していた。褥創の予防・治療には一貫したチームアプローチが必要で、原疾患の発症から在宅まで徹底した管理と、動作能力の確保・最小限の介護量による体位変換や運動の促しが必要である。 p. 42-46 共同執筆者 毛利光宏・大森 圭・宮下智・大島義彦・林 雅弘・伊藤友一・中角祐治・羽角裕子・渡辺桂一
117. 腰椎椎間板狭小化、骨棘と脊椎骨粗鬆症の関係	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	腰・下肢痛を訴え医療機関を受診した40歳以上の女性209人の単純X線像（第11胸椎から仙椎までの正面像、側面像）の椎間腔狭小化、変形性脊椎症、脊椎骨粗鬆度の相互関係を分析した。対象例209人の年齢は40～87歳、平均64.3歳であった。これら全ての年代で、椎間腔狭小例に変形性脊椎症（骨棘）が多発していた。また、40～69歳では変形性脊椎症を有する例、70歳以上の例では椎間腔狭小化群の脊椎骨粗鬆度が高かった。p. 47-52 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘 伊藤友一・武井 寛・松木宏史・橋本妙子 中角祐治・宮下 智・毛利光宏・大森 圭
118. 腰椎椎間板狭小化及び骨棘に関する研究	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	変形性脊椎症の成因を研究するために、腰・下肢痛を訴え医療機関を受診した40～87歳の女性209人に対し、生活歴などの問診結果および単純X線像を分析した。熟年、老年（55歳以上の例）では、変形性脊椎症の程度の軽度な群に青壮年期の生活活動強度が高い例が多く、老年（70歳以上）の高齢者では過去1年以内に運動を行っている例は変形性脊椎症の程度が軽度であった。各群とも椎間腔狭小化群に変形性脊椎症が多く見られた。p. 53-66 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘 伊藤友一・武井 寛・松木宏史・橋本妙子 中角祐治・宮下 智・毛利光宏・大森 圭

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
119. 胸腰椎、腰椎の楔状椎、魚椎変形の発生要因	共著	平成7年10月	山形リハビリテーション医学会誌 第5巻	腰・下肢痛を訴え医療機関を受診した40歳以上の女性209人に対し、生活歴などの問診結果及び単純X線像（第11胸椎から仙椎までの正面像、側面像）を検討した。対象例209人の年齢は40～87歳、平均64.3歳であった。その結果、70歳以上の例では既往歴がある例に楔状椎または魚椎が多く見られた。また、55歳以上の例では楔状椎・魚椎変形が見られる群に骨折歴が多く、熟年（55～69歳）群は楔状椎または魚椎のない例に現在の牛乳の摂取回数が多かった。 p. 67-77 共同執筆者 大島義彦・林 雅弘 伊藤友一・武井 寛・松木宏史・橋本妙子 中角祐治・宮下 智・毛利光宏・大森 圭
120. Follow up study of Modified Luque Instrument (G-rod) For Spinal Trauma	共著	平成7年	Proceedings of the International Symposium on Spine and Spinal Disorders in Growth and Aging	著者の考案・作成したG-rodを用いた脊椎外傷手術成績の検討を行い、Luque Rodより優秀である旨を報告。 林 雅弘、大島義彦、渡辺好博、太田吉雄
121. Symptomatic Spinal Cord Compression by an Enlarged Free Fat Graft After Cervical Canal Enlargement -A Case Report-	共著	印刷中	Spine	頸椎椎弓形成術時に神経組織の癒着防止のために移植した脂肪が、術後の経過中に肥大し脊髄圧迫を発生させた一例を報告。 林 雅弘、大島義彦、渡辺好博
122. Arthrodesis of the Cervical Spine in Rheumatoid Arthritis	共著	平成7年6月	Journal of Orthopaedic Surgery	従来の一般的治療法である頸椎のリウマチ病変に対する脊柱固定術例に、隣接椎管に不安定症が多発することを報告し、警告を發した。 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、平本典利、渡辺好博
123. Expansive Open-door Laminoplasty with Reconstruction of Spinous Process	共著	平成7年	Proceedings of the International Symposium on Spine and Spinal Disorders in Growth and Aging	著者が考案した頸部脊柱管拡大術が脊椎のバイオメカニクスからみて最も合理的術式であることを明らかにして、200例の臨床成績を報告。 大島義彦、林 雅弘、渡辺好博

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
124. Operative Results for Metastatic Spinal Tumors	共著	平成7年	Proceedings of the International Symposium on Spine and Spinal Disorders in Growth and Aging	悪性腫瘍の脊椎移転例についての著者の汎用的術式の紹介と治療成績を報告し、その適応は一般に考えているよりさらに広いことを報告。 太田吉雄、 <u>大島義彦</u> 、林 雅弘、渡辺好博
125. 腰椎分離症	単著	平成8年2月	SPORTS LIFE やまがた PP	学童時代に過大な機械的なストレスが加わって発生する腰椎分離症の病態生理を述べ、その予防策、治療法、トレーニング法を論じた。pp.4
126. 山形県における骨粗鬆症検診報告書－骨密度測定と生活習慣実態調査－	共著	平成8年3月	山形県環境保健部保健予防課	山形県で施行された骨粗鬆症検診の被検診者998名の生活歴・生活活動強度・食環境などを測定し、骨密度を対応させ、骨粗鬆症の山形県における実態を解明した。 総頁数30頁 <u>大島義彦</u> 、林 雅弘、Elhlarsur Rahman、伊藤友一、武井 寛、中角祐治、宮下 智、毛利光宏、大島 圭
127. 新鮮胸・腰椎損傷の治療指針	共著	平成8年7月	Monthly Book Orthopaedics X7)PP D- S	新鮮胸・腰椎損傷の搬入時の処置、損傷の効果的判定法、検査手順などについて診断、治療体系を提起した。 (担当：雑誌の特集主題「胸・腰椎損傷の診断と治療」の企画) <u>大島義彦</u> 、平野弘之
128. 胸・腰椎破裂骨折の診断と治療方針	共著	平成8年7月	Monthly Book Orthopaedics X7)PP D/F- VS	胸・腰椎破裂骨折の診断法、保存的及び観血的治療法、手術の前方、後方法の使い分け、手術適応について提起した。 (担当：雑誌の特集主題「胸・腰椎損傷の診断と治療」の企画) 林 雅弘、 <u>大島義彦</u> 、平野弘之
129. 高齢者の肩関節障害の疫学調査	共著	平成8年10月	肩関節別冊20(1)205-208	山形県を代表すると考えられる市の代表的地区3箇所をとりそこに住む65歳以上の住民の肩関節障害の有無について悉皆検診を試行。618人中136人22%に肩関節障害を認め、女性、仕事をしていない人に多く見られた。 後藤康夫、村成 幸、松田雅彦、寒河江正明、佐藤哲也、 <u>大島義彦</u>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
130. Spinoplastic expansive laminoplasty of the cervical spine in rheumatoid arthritis	共著	平成9年	Journal of Orthopaedic Surgery, 5(2); 35-39	著者らが考案した脊柱管拡大術を慢性関節リウマチの軸椎下不安定症に行い良好な結果を得た。この発想の転換ともいべき治療法は汎用されるべきである。 Tomokazu Ito, Yoshihiko Ohshima, Masahiro Hayashi, Noritoshi Hiramoto, Makoto Hamasaki
131. 地域から見た高齢者のリハビリテーションの需要に関する調査研究	共著	平成9年	山形医学15(1) 55-64	地域をとってリハビリテーションの需要を調査した文献はほぼ皆無に等しい。これを明らかにするために山形県を代表すると考えられる市の代表的地区3箇所をとりそこに住む65歳以上の住民の悉皆検診を試行。受診率は630名中623名98.9%。顕在需要は181名、29.1%、専門家から見たリハ適応即ち潜在的リハビリテーションの需要は72.7%であった。 塩飽 仁、大島義彦
132. 痙縮例の反回抑制	共著	平成9年	運動・物理療法10(1): 60-63	痙縮状態では固有受容器の緊張が高まり、その程度に応じRenshaw細胞が興奮し随意運動が円滑に行うための調整を行っていることが示唆された。 中角祐治、間瀬教史、古川順光、小野武也、毛利光宏、宮下 智、駒沢治夫、大島義彦
133. Contrast-enhanced 3D SPGR法を用いた腰椎椎間板ヘルニアのMRI	共著	平成9年	脊椎脊髄ジャーナル10(3)243-247	Contrast-enhanced 3D SPGR法を用いた腰椎椎間板ヘルニア20例のMRIを検討し、この方法が神経根を末梢まで追うことができ、ヘルニアと神経根を立体的に捉える事ができる優れた検査法であることが明らかになった。 伊藤友一、大島義彦、林 雅弘、平本典利、渡辺奈美
134. 環軸椎亜脱臼に対する後方固定術の治療経験	共著	平成9年12月	日本脊髄外科学会機関誌11(2)151-158	環軸椎亜脱臼に対し、手術を試行した76例について後方ワイヤリング法とMagerl法の骨癒合状況を比較検討。前者は81.3%、後者は100%と優れていた。 伊藤友一、林 雅弘、大島義彦
135. 山形県における訪問看護システムの構築に関する研究	共著	平成10年3月	山形県高齢化社会研究所紀要17(2)1-18	三世同居率が全国第一位である本県において訪問看護体制のあり方を検討するために地域調査を行った。療養・介護を要する状況に陥った場合を想定したとき、療養希望場所は自宅70.7%、病院13.1%、施設11.8%、希望介護者は嫁30.9%、娘25.2%、妻、息子の順であり、訪問看護の希望度は世間体や、制度の認知度の如何に大きく影



著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				響されていた。 高橋みや子、佐々木明子、山田皓子 桂 敏樹、星野明子、渡部由美、 <u>大島義彦</u> 鈴木育子
136. 老人施設における転倒の実態について	共著	平成11年	山形保健医療研究、2巻	高齢者の転倒に関するさまざまな要因について老健施設、特別養護老人ホームの入居者203名について調査した。転倒の原因として痴呆による身体能力の自覚の欠如がクローズアップされた。 片岡美枝子、佐藤幸子、片桐智子、沼沢さとみ、井上京子、大森 圭、古川順光、内田勝雄、八木 忍、 <u>大島義彦</u>
137. 老人施設入居者のADL認識のズレについて	共著	平成11年	山形保健医療研究、2巻	老健施設、特別養護老人ホームの入所者185名について長谷川式簡易知能評価スケールと自己のADL認識について調査した。両者は必ずしも一致せず、転倒の危険の予知などでは後者の方が有用であると考えた。 片岡美枝子、佐藤幸子、片桐智子、沼沢さとみ、井上京子、大森 圭、古川順光、内田勝雄、八木 忍、 <u>大島義彦</u>
138. 老人保健施設入居者のエネルギー消費量について	共著	平成11年	山形保健医療研究、2巻	老健施設入所者86名の生活行動を消費エネルギーに換算し、下肢筋力、痴呆度の関連を検討。基本的にはこれらに正の相関が見られた。 片岡美枝子、佐藤幸子、片桐智子、沼沢さとみ、井上京子、大森 圭、古川順光、内田勝雄、八木 忍、 <u>大島義彦</u>
139. 高齢者の訪問看護の利用意識に関連する諸要因	共著	印刷中	訪問看護、医学書院	抽出地域の高齢者412名について面接、自記式アンケートを試行。訪問看護の言葉の認知度は76.3%、内容の理解は39.1%、将来障害に陥った場合の訪問看護の利用希望は63.6%で三世帯同居世帯では低値であった。 成澤一恵、佐々木明子、山田皓子、桂 敏樹、鈴木育子、星野明子、 <u>大島義彦</u>
140. パルス磁気刺激による末梢神経興奮発生様式の特徴	共著	平成11年	運動・物理療法10(1):60-63	従来の低周波通波電気刺激法に比べ、パルス磁気刺激による末梢神経刺激法は頭痛が少ない利点を持つが、H波が誘発され難く、その原因は刺激の持続時間によるものと考えられた。 中角祐治、毛利光宏、小野武也、 <u>大島義彦</u>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 1. 温泉の保健・医療・福祉の利用促進調査	共著	平成2年3月	山形県高齢化社会研究所紀要	山形県における温泉の所在地、湯量、成分分析を調査し、コンピューターにてデータベース化を施行。また、これらの温泉の利用状況を分析し、ヨーロッパの温泉利用状況と対比して、今後の温泉の保健・医療・福祉への活用法を提言した。 9(3) 総58頁 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2. 蔵王・月山地域におけるクア・アルカディア中核機能整備構想調査	共著	平成3年3月	国土庁計画調整局 蔵王・月山地域におけるクア・アルカディア中核機能整備構想調査報告書	山形県の蔵王から月山に至る地域における温泉や丘陵、森林、河、雪などの自然資源、既に整備されている健康増進施設、スポーツ施設、山形大学をはじめとする健康増進、スポーツ医科学関連研究機構及び人材を幅広く調査し、これらの有機的結合により、健康と体力の増進、スポーツ競技力向上を目的とする総合施設を設立する意義と可能性を明らかにした。 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
3. 健康と温泉FORUM 91 温泉とエクササイズ	単著	平成4年	温泉FORUM 実行委員会報告書	温泉は、その理学作用と日本人の伝統文化としての心理的効果により、自律神経を調整し、代謝を活性化して、人体の積極的休養を産み出すが、動物である人間は働くことによって身体の健康を維持、発達、強化がなされることから、これらの程良い組み合わせによって、現代の自然・社会環境における、望ましい健康増進が得られることを報告。(シンポジスト)
4. 高齢者の体力保持増進のための運動処方研究開発	共著	平成4年	山形県高齢化社会研究所紀要	山形市総合スポーツセンタートレーニング室において、65歳以上の高齢者50名の6ヵ月におよぶ健康、運動、若返り教室を開催。運動の実施に先立ち血液生化学的検査、体力検査を施行し、これに基づき、運動を処方、実践。6ヵ月後に再評価し、健康増進が着実に獲得されたことを報告。 11(3) 総79頁 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
5. 医療機関、社会福祉施設におけるリハビリテーション実態調査	共著	平成5年	山形県環境保健部報告書	山形県全域の全ての医療機関、社会福祉施設におけるリハビリテーションの施設内容、機器整備状況、スタッフ、患者数、病名、施行されたりハビリテーションの内容

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				<p>の断面調査、施設開設者、リハビリテーションスタッフの意識調査を施行。  (担当：委員長)  (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)</p>
6. 寒河江チェリークア・パーク増進プロジェクト	共著	平成5年	ほくとう総研チェリークアパーク基本計画	<p>山形県寒河江市を流れる最上川、整備中の高速道路、ハイウェイオアシス、寒河江温泉、史跡、景観、サクランボに代表される名産のフルーツを組み合わせ、心身のリハビリテーションを目的とした総合公園整備の企画を提案した。  (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)</p>
7. 高齢者の体力評価	共著	平成5年	体力科学	<p>第48回日本体力医学会主題シンポジウムにおいて、高齢者の体力を定義し、その評価尺度を提案した。(シンポジスト)  42(1) pp. 15-16</p>
8. 地域におけるリハビリテーション医療の需要に関する調査研究	共著	1994年3月	山形県環境保健部	<p>山形県におけるリハビリテーション医療のニーズを調べるため、県の平均高齢化率を示し、他の点でも県の平均値となる寒河江市の3地域を選び、65歳以上の人口の約1割、630名を抽出して、これを100%直接検診を行って、リハビリテーションの専門家からみたりハビリテーションのニーズ、住民のリハビリテーションの理解度、ニーズを調査。同時に寒河江のいわゆるねたきりの原因調査、ねたきりからの脱出の可能性を検討。この種の調査研究は内・外を通して例がない。  (担当：企画・実施責任者)  (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)</p>